

令和元年度 東国分中学校ブロック

第2回義務教育学校の設置に関する検討委員会

令和2年2月27日（木）17時00分
市川市立東国分中学校

第2回検討委員会の主な内容

- 義務教育学校設置に係る課題の共通理解
- 今後の協議の進め方についての共通理解

1 委員長挨拶

2 報告

3 協議

- （1）義務教育学校の設置に係る課題について
- （2）今後の協議の進め方について

4 その他

I 報告

1 市の計画の中での位置づけについて

(1) 市川市基本構想（計画期間：2001 年～2025 年） 5 つの基本目標

○真の豊かさを感じるまち

- ・一人ひとりの個性を尊重し、豊かな感性と創造力を持った子どもを育てる教育環境の整備

(2) 市川市基本計画（第2次）（計画期間：2011 年～2021 年） 45 の施策体系

○子どもの教育

- ・幼児期からの充実した教育環境の整備
- ・一人ひとりに応じた教育的支援

2 各学校の児童生徒数推計

※令和1年度は実数(5月1日現在)

※入学者割合はH29～H31の平均

※学級数は普通学級数

	学校名	入学者割合		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
22	曾谷小学校	103.7%	児童数	421	407	388	383	346	318	316	306	301	273	277	271	264	257	253
			学級数	14	13	13	13	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	12
35	稲越小学校	92.4%	児童数	209	214	226	244	244	242	230	227	225	216	212	211	204	197	196
			学級数	8	8	9	10	10	10	10	9	10	9	8	7	6	6	6
12	東国分中学校	65.1%	生徒数	324	310	304	297	299	306	305	281	269	260	245	228	213	207	203
			学級数	11	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	7	6	6

(6学級を下回る小学校・9学級を下回る中学校)

※令和1年度は実数(5月1日現在)

※入学者割合はH29～H31の平均

※学級数は普通学級数

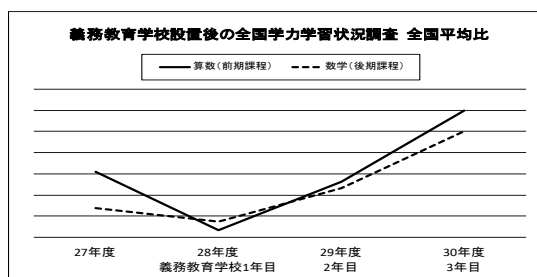
	学校名	入学者割合		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
5	国分小学校	74.0%	児童数	269	263	268	270	282	284	300	312	306	300	289	273	268	262	257
			学級数	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12
21	中国分小学校	93.3%	児童数	489	485	490	457	456	428	409	394	372	368	355	357	346	342	336
			学級数	16	16	17	16	15	13	12	14	13	12	12	12	12	12	12

3 塩浜学園の小中一貫教育の研究にみる「成果と課題」について

(1) 家庭との連携について

- 小中一貫校では、家庭に対して 9 年間同じ方向を向くことで、家庭からの関心を高め、基本的な生活習慣や家庭学習の習慣が身につくと期待された。

(2) 学力学習状況調査について



全国学力学習状況調査の全国平均と塩浜学園平均の差の値をグラフ化したもの

4 施設分離型による義務教育学校運営の事例について

(1) 小中一貫教育、小中一貫校の研究・開発に取り組む自治体

○小中一貫教育全国連絡協議会（正会員）

（令和元年 11 月）

No	所在地	会員名	No	所在地	会員名
1	北海道	三笠市教育委員会	28	静岡県	吉田町教育委員会
2		北広島市教育委員会	29	三重県	名張市教育委員会
3	青森県	むつ市教育委員会	30	滋賀県	長浜市教育委員会
4		東通村教育委員会	31		高島市教育委員会
5		三戸町教育委員会	32	京都府	京都市教育委員会
6	岩手県	大槌町教育委員会	33		京丹後市教育委員会
7		普代村教育委員会	34	大阪府	堺市教育委員会
8	宮城県	登米市教育委員会	35		池田市教育委員会
9	秋田県	小坂町教育委員会	36		寝屋川市教育委員会
10	山形県	新庄市教育委員会	37		箕面市教育委員会
11		南陽市教育委員会	38		柏原市教育委員会
12	茨城県	水戸市教育委員会	39		東大阪市教育委員会
13		つくば市教育委員会	40		能勢町教育委員会
14	栃木県	宇都宮市教育委員会	41	兵庫県	姫路市教育委員会
15		小山市教育委員会	42	奈良県	奈良市教育委員会
16	埼玉県	入間市教育委員会	43		明日香村教育委員会
17		八潮市教育委員会	44	島根県	松江市教育委員会
18	千葉県	鴨川市教育委員会	45	広島県	呉市教育委員会
19	東京都	江東区教育委員会	46		府中市教育委員会
20		品川区教育委員会	47	高知県	梼原町教育委員会
21		渋谷区教育委員会	48	福岡県	飯塚市教育委員会
22		三鷹市教育委員会	49		宗像市教育委員会
23		武蔵村山市教育委員会	50		芦屋町教育委員会
24	新潟県	三条市教育委員会	51	宮崎県	日向市教育委員会
25	長野県	茅野市教育委員会	52		えびの市教育委員会
26		信濃町教育委員会	53	熊本県	八代市教育委員会
27	岐阜県	白川村教育委員会	54	鹿児島県	薩摩川内市教育委員会

(2) 施設一体型の義務教育学校

義務教育学校(施設一体型)

	都道府県	学校名
国立	福井県	福井大学教育学部付属義務教育学校
	京都府	京都教育大学付属京都小中学校
	島根県	島根大学教育学部付属義務教育学校
公立	北海道	伊達市立大滝徳舜警学校 占冠村立トマム学校 斜里町立知床ウトロ学校 湧別町立芭露学園 白糠町立庶路学園 中標津町立計根別学園
	岩手県	大槌町立大槌学園
	宮城県	名取市立関上小中学校
	秋田県	井川町立井川義務教育学校
	山形県	新庄市立萩野学園 戸沢村立戸沢学園
	福島県	郡山市立西田学園
	茨城県	水戸市立国田義務教育学校 つくば市立春日学園義務教育学校 つくば市立秀峰筑波義務教育学校 つくば市立学園の森義務教育学校 つくば市立みどりの学園義務教育学校 土浦市立新治学園義務教育学校 桜川市立桃山学園 河内町立かわち学園
	栃木県	小山市立絹義務教育学校 那須塩原市立塩原小中学校
	埼玉県	春日部市立江戸川小中学校
	千葉県	市川市立塩浜学園 成田市立下総みどり学園
	東京都	品川区立日野学園 品川区立伊藤学園 品川区立八潮学園 品川区立荏原平塚学園 品川区立品川学園 品川区立豊葉の杜学園 江東区立有明西学園
	神奈川県	横浜市立義務教育学校霧が丘学園 横浜市立義務教育学校西金沢学園
	新潟県	三条市立大崎学園
	石川県	珠洲市立宝立小中学校 珠洲市立大谷小中学校
	長野県	信濃町立信濃小中学校 大町市立美麻小中学校
	岐阜県	羽島市立桑原学園 白川村立白川郷学園
	静岡県	伊豆市立土肥小中一貫校
	三重県	津市立みさとの丘学園
	滋賀県	長浜市立余呉小中学校

義務教育学校（施設一体型）

	都道府県	学校名
公立	京都府	亀岡市立亀岡川東学園 京都大原学院
	大阪府	池田市立ほそごう学園 守口市立さつき学園 羽曳野市立はびきの埴生学園 和泉市立南松尾はつが野学園 東大阪市立義務教育学校くすは縄手南校 東大阪市立義務教育学校池島学園
	兵庫県	神戸市立義務教育学校港島学園 姫路市立白鷺小中学校
	和歌山県	和歌山市立伏虎義務教育学校
	鳥取県	鳥取市立湖南学園 鳥取市立福部未来学園
	島根県	松江市立義務教育学校八束学園
	広島県	府中市立府中学園 府中市立府中明郷学園 竹原市立吉名学園 福山市立鞆の浦学園
	高知県	高知市立義務教育学校行川学園 高知市立義務教育学校土佐山学舎
	福岡県	八女市立上陽北浜学園 宗像市立大島学園
	佐賀県	大町町立小中一貫校大町ひじり学園 多久市立東原庫舎東部校 多久市立東原庫舎中央校 多久市立東原庫舎西溪校 玄海町立玄海みらい学園
	長崎県	佐世保市立浅子小中学校 佐世保市立黒島小中学校
	熊本県	高森町立高森東学園義務教育学校 産山村立産山学園
	大分県	大分市立碩田学園
	鹿児島県	出水市立鶴荘学園 南さつま市立坊津学園 薩摩川内市立東郷学園義務教育学校

(3) 施設分離型の義務教育学校

義務教育学校（施設分離型）

	都道府県	学校名	特徴
公立	茨城県	笠間市立みなみ学園義務教育学校	○5－4制 ・1～5年生 小学校校舎 ・6～9年生 中学校校舎 ※約800m離れている ○小4から一部教科担任制（音楽、図工等） ・小6から教科担任制 ○特例教科 ・小1から英語や郷土学習を実施
	大阪府	東大阪市立義務教育学校 くすは縄手南校 東大阪市立義務教育学校 池島学園	○6－3制 ・1～6年 小学校校舎 ・7～9年 中学校校舎 ○6年生から一部教科担任制 ・小学校校舎内で実施 ○独自の教科 ・「夢TRY科」を実施 ・防災、金融、社会保障など
	兵庫県	姫路市立四郷学院	○5－4制 ・1～5年生 小学校校舎 ・6～9年生 中学校校舎 ※100m離れている
	鳥取県	鳥取市立鹿野学園	○5－4制 ・1～5年生 小学校校舎 ・6～9年生 中学校校舎 ○独自の教科 ・「表鷺科」を実施 ・地域にある演劇、伝統芸能、工芸など

5 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進

(1) 小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引（文部科学省）

【コラム：コミュニティ・スクールと小中一貫教育】

- コミュニティ・スクールと小中一貫教育は極めて親和性が高い取組です。コミュニティ・スクールは、学校と地域をつなぐ仕組みですし、小中一貫教育は、小・中学校の児童生徒間、教職員間をつなぐ取組であり、いずれも児童生徒に多様な者との関わりを持たせたいという願いが共通にあると言えます。また、コミュニティ・スクールの観点からすれば、小中一貫教育は地域の支援を小・中学校で断絶させない仕掛けとも言えます。
- 小学校の教員はずっと小学校の教員、中学校の教員はずっと中学校の教員を務めるケースがほとんどですが、小学生の保護者はいずれ中学生の保護者となります。もとより地域住民は小学校だけ、中学校だけを見ているわけではありません。その意味では、保護者や地域の視点から見れば、中学校区を単位として学校教育を充実させる取組は、それを小中一貫教育と呼ぶかどうかは別として、言わば当然の帰結であると言えます。中学校区を単位として小・中学校がネットワークを作り、教職員が互いに支援し合う体制を作ることによって、地域住民や保護者が学校を信頼し、課題を共有し、学校を支援する活動が充実する。その意味では小中一貫教育とコミュニティ・スクールは一体的に推進する意義が大きいものと言えるでしょう。

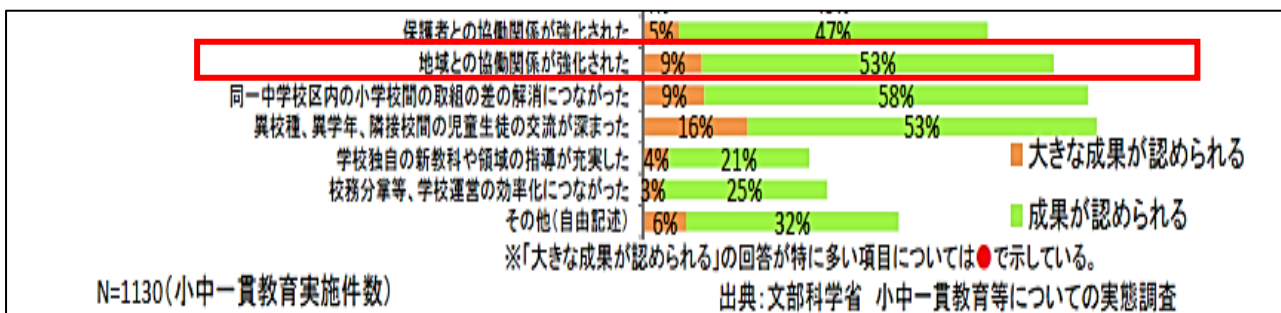
(2) 中央教育審議会の答申

- 小中一貫教育の総合的な推進方策として、地域ぐるみで子どもたちの9年間の学びを支える仕組みとして、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを組み合わせる実施することが有効であり、中学校区内の小中学校における一体的な学校運営協議会の設置を促進する必要がある。
（「子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築について」平成26年12月）
- 地域ぐるみで子供たちの義務教育9年間の学びを支える仕組みとして、中学校区の複数の学校が連携した教育支援体制を構築することは重要であり、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを有機的に組み合わせ、大きな成果を上げている例も見られる。
（「新しい教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」平成27年12月）

(3) 学校教育法の一部を改正する法律案（義務教育学校の制度化等）に対する附帯決議

- 義務教育の九年間の学びを地域ぐるみで支える新たな仕組みとしての義務教育学校となるよう、市町村教育委員会は、保護者や地域住民の理解と協力を得るための場として、学校運営協議会等の設置及び活用に努めること。（衆議院 文部科学委員会）
- 義務教育学校等における九年間の学びを地域全体で支えることの重要性に鑑み、保護者や地域住民の理解と参画を得るため、学校運営協議会等、組織的・継続的な学校支援体制の整備及び活用に努めること。（参議院 文教科学委員会）

【参考】



(4) 小中一貫教育とコミュニティ・スクール（大槌町の事例）



「大槌町コミュニティ・スクール協議会」は、両学園の「学校運営協議会」を内包するものです。評価検証委員会は、各学園学校運営協議会と各部会からの報告を受けて、各学園と各部会の取組を評価し、改善する点について提案されたことを協議し、承認します。



(2) 各部会等の役割

委員会名 部会名	主な活動内容 (協議内容)	主なメンバー
評価検証委員会	○「学校運営協議会」の報告 ○各部会の今年度の方針 ○目標設定・効果測定について	学校運営協議会長、PTA会長・副会長、教育委員、各校長、各部会長、教育委員会等
子供支援部会	○放課後や長期休業などの子供の居場所づくりや学習支援について	教員、保護者、地域住民、保健福祉課、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育委員会、NPO等
地域学校協働部会	○「ふるさと科」の推進について ○地域ボランティアについて	教員、保護者、地域住民、学校支援コーディネーター、商工会、教育委員会、NPO等
地域学校安全部会	○通学路交通安全プログラムの実施 ○学校安全計画の検討	教員、保護者、警察、三陸国道事務所、沿岸広域振興局道路整備課、地域住民、大槌町役場職員、教育委員会等

具体的実践例

柱①【地域への愛着を育む学び】

めざす姿：地域に主体的にかかわりながら地域のよさを理解し、復興発展に参画する子ども。

『郷土料理作り』(大槌学園・吉里吉里学園)

地域のお年寄りの方から、郷土に伝わるおやつ「金成（かねなり）団子」の作り方を教えていただきながら、一緒に団子作りをします。郷土料理のよさや作ることの楽しさを学ぶだけでなく、地域のお年寄りとのふれあいの場にもなっています。



『町たんけん』(大槌学園・吉里吉里学園)

「はまぎく若だんな会」のメンバーを講師に、3年生が大槌の豊かな自然や歴史等を学び、郷土のよさを再発見しています。

「浪板不動滝」等、これまで知らなかった場所を訪れたり、土器を採取したりと、児童にとって探究心がくすぐられる活動満載です。職業訪問も合わせて実施しています。



『鮭の学習』(大槌学園)

大槌町の特産物である「鮭」をテーマに、ふるさとへの愛着を育んでいます。

5年生では生鮭を捌く様子を目の前で見学した後、それを使った料理づくりを行います。稚魚放流にも取り組んでいます。

7年生では新巻鮭づくりに挑戦。体験的に製作工程を学びます。



『郷土芸能発表会』(吉里吉里学園)

発表会には、200人以上の保護者や地域住民が来場。地域の文化・郷土芸能を学ぶことで郷土を愛する心を育成しています。今年度も地域住民と生徒らが4・5・6年生の指導にあたりました。3年生は郷土芸能について調べた内容を発表しました。

柱②【生き方・進路指導を充実させる力を育む学び】

めざす姿：社会的役割や職業について理解し、進路選択や人生設計について主体的に考え実現しようとする子ども。



『わかめの学習』(吉里吉里学園)

大槌町の特産物「わかめ」をテーマに、ふるさとへの愛着を育んでいます。

7・8年生では体験的に製造工程を学びます。製品ラベルも手作りです。

完成した「塩蔵わかめ」は9年生の修学旅行時に販売します。製造の様子をタブレットでまとめ、販売会場で放映しています。



『職場体験学習』(大槌学園・吉里吉里学園)

仮設商店街、スーパーマーケット、老人介護施設等、町内50カ所の事業所の協力をいただき実施。学校支援地域コーディネーターが連絡役となり、一覧表にして学校に情報提供します。生徒自身がそれぞれ希望した職場で体験学習する過程で、生き方や進路を考えさせ、主体的に将来を切り開く能力を育成しています。



『キャリア講演会』(吉里吉里学園)

町内企業の管理職等に面接官をしていただき、「模擬面接」を実施しています。

校内で教職員が行う場合よりも格段に緊張感が増し、高校受験を控える9年生にとって貴重な体験学習になっています。

面接終了後は、面接官を講師に講演会をし、それぞれの職業観を向上させています。

6 系統性・連続性を重視した学習

○ 9年間を見通した指導計画を作成して、系統性・連続性を重視した学習を行うことが出来ます。

塩浜学園 年間指導計画(簡略版)			教科名		理科		※ 各学年ごとに単元名を記入しましょう。 ※ 全学年が記入したあと、つながり等を考えて、入れ替えを検討しましょう。 ※ 各セル5段ずつ記入できます。(さらに3分割することも可能です。) ※ 右の欄は、各教科の特性に応じて活用してください。											
1年			2年		3年		4年		5年		6年		7年		8年		9年	
4					・しぜんのかんさつをしよう ・植物をそだてよう(1) たねまき	8 ・季節と生き物(春) 5	8 ・天気と情報(1) 天気の変化	9 ・私たちの生活と環境 ・学習の準備	1 ○身近な生物の観察 2 ○植物の生活と種類 植物の体のつくりとはたらき 4	9 ○化学変化と分子原子 ・物質の成り立ち 9 ・いろいろな化学変化	12 ○運動とエネルギー ・力のはたらき							
					・こん虫をそだてよう ・植物をそだてよう(2) 葉・茎・根	8 ・天気と気温 9	8 ・生命のつながり(1) 植物の発芽	9 ・ものの燃え方 ・植物の成長と日光の関わり	5 植物の体のつくりとはたらき 5	9 ・化学変化と物質の質量 ・化学変化と熱の出入り	12 ・物体の運動 ・仕事とエネルギー							
6					・ゴムや風でものをうごかさう	7 ・電池のはたらき ・とどこめた空気や水	9 ・生命のつながり(2) 植物の成長 5 ・生命のつながり(3) メダカのたんじょう	4 ・体のつくりとはたらき ・植物の成長と水の関わり 8	11 植物の体のつくりとはたらき 2 植物のなかまわけ ○物質のすがた ・いろいろな物質	12 ○動物の生活と生物の進化 ・細胞のつくりとはたらき ・生命を維持するはたらき	16 ・仕事とエネルギー							
					・植物をそだてよう(3) 花 ・じゅうけんきゅう	4 ・季節と生き物(夏) ・星や月(1) 星の明るさや色 ・自由研究	4 ・生命のつながり(3) 人のたんじょう 自由研究 2	6 ・生物どうしの関わり 2 自由研究	3 ・いろいろな物質 5 1	6 ・行動のしくみ ・動物のなかま	8 ○生命のつながり ・生物の成長とふえ方							
9					・じゅうけんきゅう ・動物のすみかをしらべよう	1 ・季節と生き物 5 (夏の終わりに) ・私たちの体と運動	2 ・生命のつながり(5) 植物の実や種子の働き 7	8 ・月と太陽	9 ・気体の発生と性質 ・物質の状態変化	9 ・生物の進化	12 ・遺伝の規則性と遺伝子 ○自然界のつながり ・生物どうしのつながり							
	#				・植物をそだてよう(4) 花がさいたあと ・太陽のうごきと地面のようすをしらべよう	4 ・星や月(2) 月の動き 10	2 ・天気と情報(2) 台風と天気の変化 6	6 ・水よう液の性質	12 ・物質の状態変化 水溶液 ○身近な物理現象 ・光の性質	○電流とその利用 ・電流と回路	16 ・自然界を循環する物質 ○化学変化とイオン 水溶液とイオン							
#					・太陽のひかりをしらべよう	6 ・季節と生き物(秋) ・わたしたちの理科室 ・ものの温度と体積	4 ・流れる水のはたらき 2 9	10 ・土地のつくりと変化	12 ・光の性質 音の性質 ・力と圧力	12 ・電流と磁界	16 ・化学変化と電池 酸アルカリとイオン							
	#				・ものの重さをしらべよう	6 ・もののあたまのり方	9 ・電磁石の性質	14 ・てこのはたらき	11 ・力と圧力	9 ・電流の正体	12 ○地球と宇宙 ・天体の1日の動き ・天体の1年の動き							
1					・豆電球にあかりをつけよう	7 ・星や月(3) 星の動き	3 ・もののどけ方	14 ・電気の性質とその利用	8 ・力と圧力 ○大地の変化 ・火山	9 ○気象のしくみと天気の変化 ・気象観測 ・大気中の水蒸気の変化	12 ・月と惑星の運動 太陽系と銀河系							
	2				・じしゃくのふしぎをしらべよう	6 ・季節と生き物(冬) ・すがたをかえる水	4 ・ふり子の動き 11	10 ・電気の性質とその利用	5 ・地震 地層 5	12 ・前線の通過と天気の変化	16 ○地球の明るい未来のために ・自然環境と人間の関わり ・暮らしを支える科学技術							
3					・おもちゃショーをひらこう	2 ・自然のなかの水	5 ・6年の学習のじゅんび	2 ・生物と地球環境	4 ・大地の変動	6 ・日本の気象	8 ・大切なエネルギー資源							
	総時数 0		総時数 0		総時数 90		総時数 102		総時数 105		総時数 105		総時数 105		総時数 140		総時数 140	

○義務教育学校は組織が一つであることから、前期課程・後期課程の教員が一緒になって、9年間の学びを見通し、指導の改善を図る取り組みが進められるようになります。

〔授業研究会での一コマ〕系統性・連続性を重視した協議が行われています



前期課程の教員も8年生の理科の授業を参観

協議会

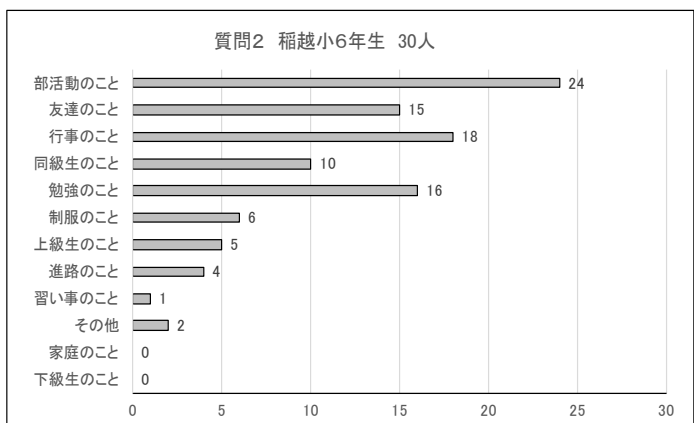
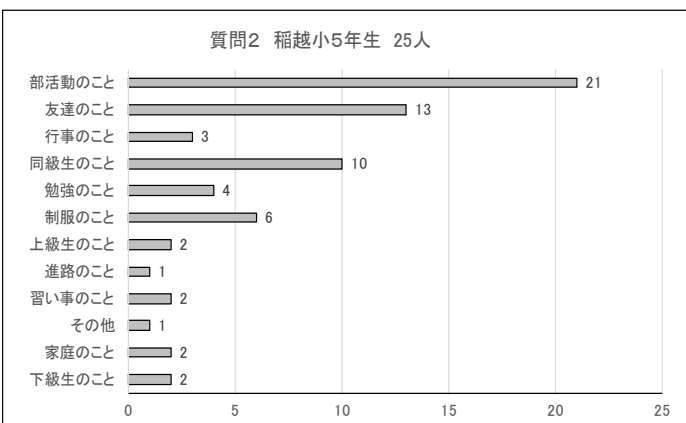
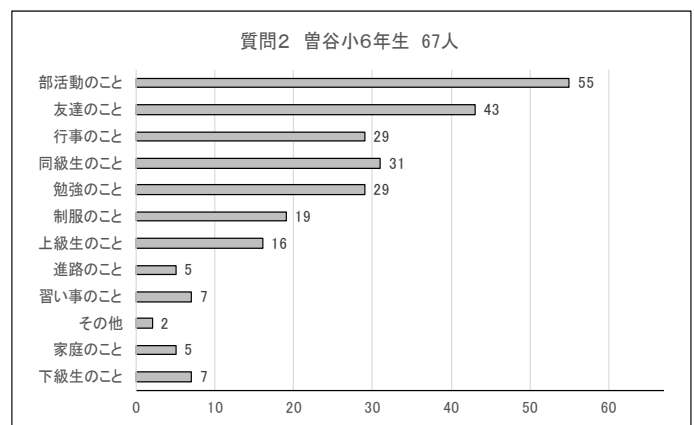
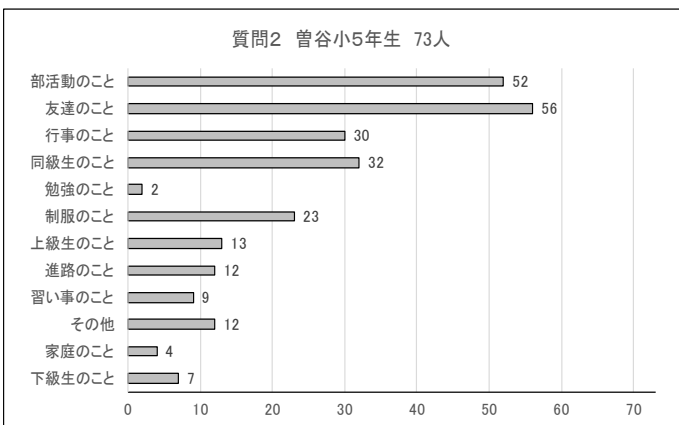
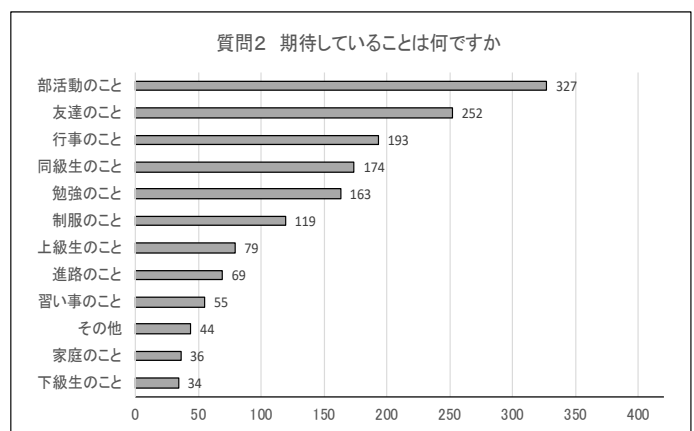
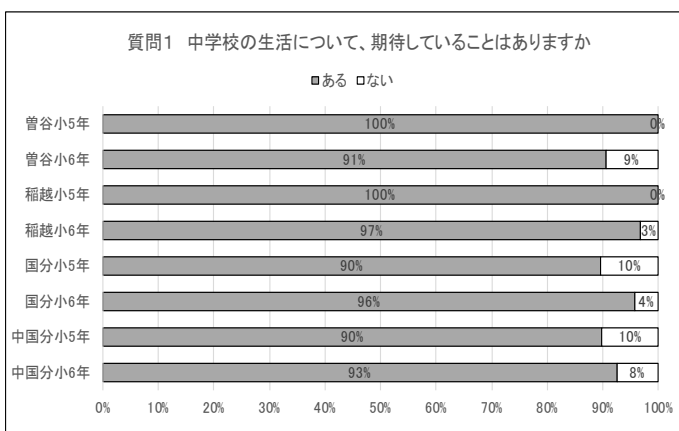
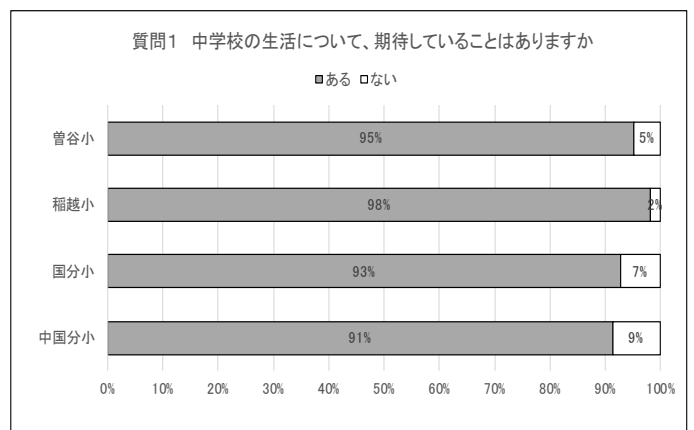
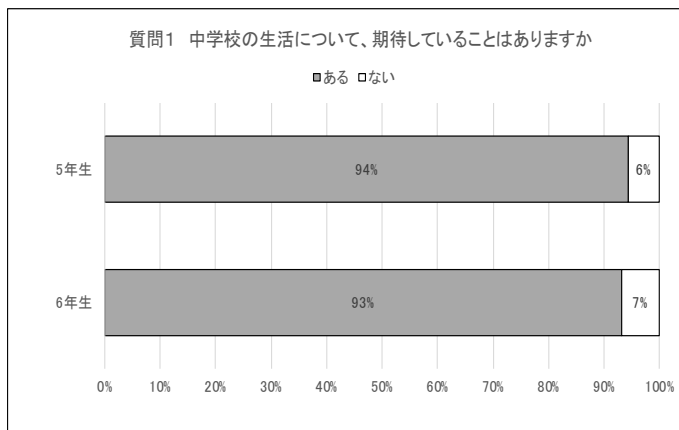


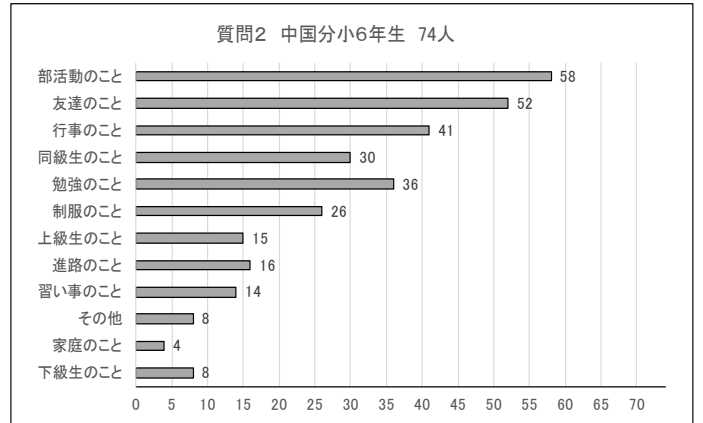
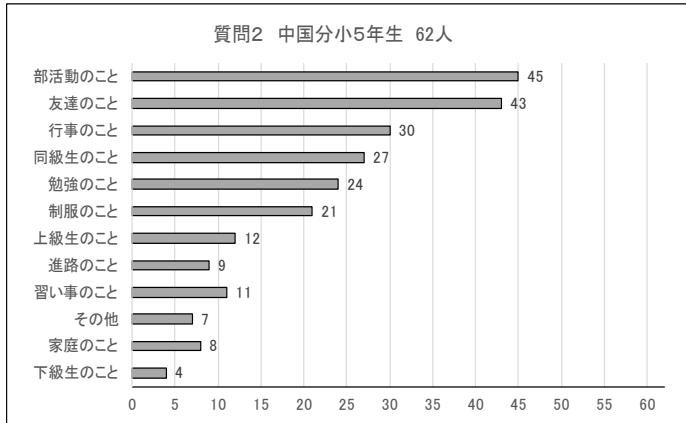
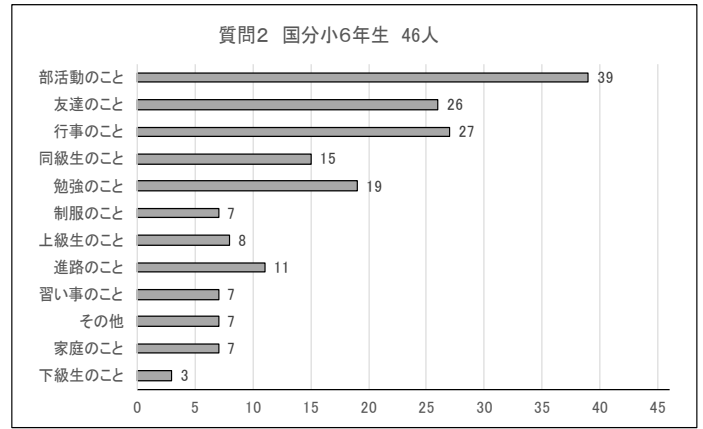
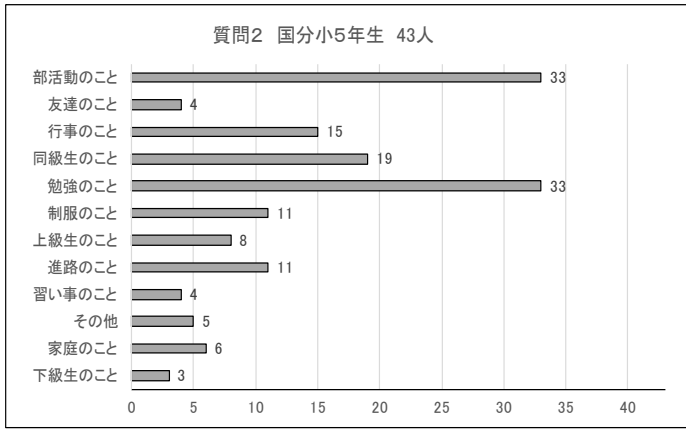
6年生で○○まで学習しているのだから、その振り返りから始めた方がよい

Ⅱ 協議

1 児童アンケートの結果

(1) 中学生活への期待

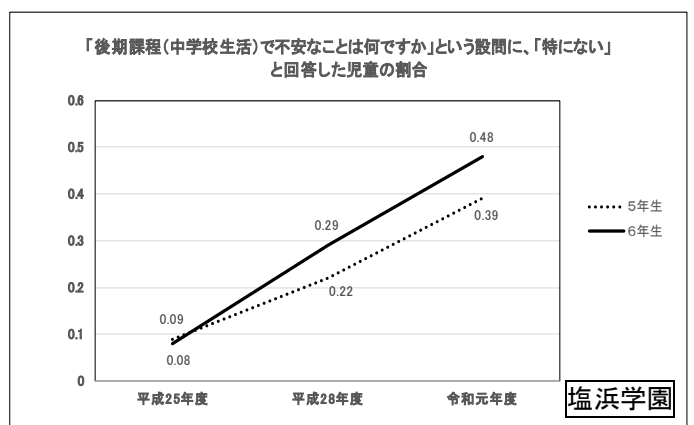
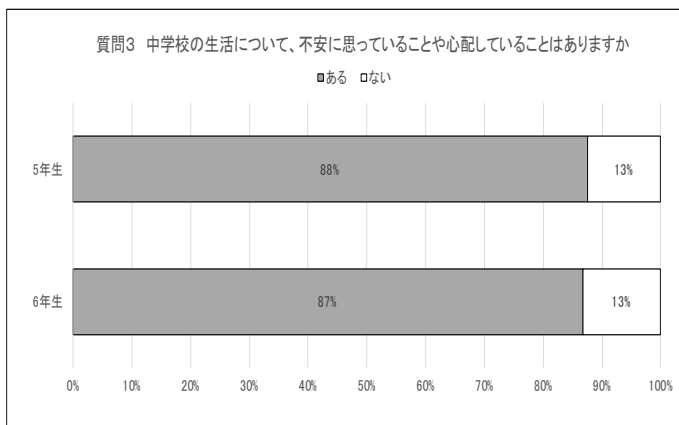




○期待していることが「ない」理由

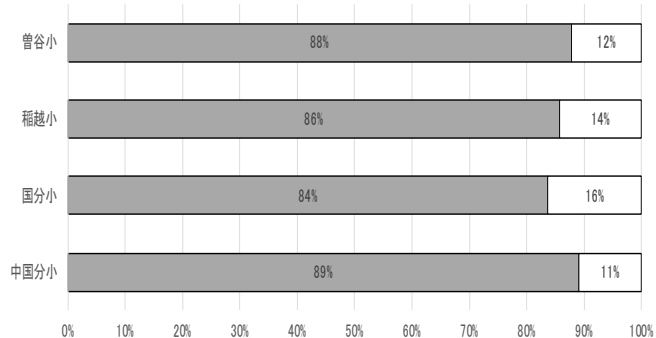
- ・中学がどういうところかわかっている ・姉を見ていてあんまりよくなさそうだから
- ・学校がめんどくさいから ・楽しみなことがないから ・全部期待してない。中学校自体が興味ない
- ・勉強も難しくなっていくし、友達もできるか分からないし、とかであまり期待できることがないから
- ・制服はたいていスカートでいやだから。勉強も難しくなる。中学では特に期待していることはない
- ・勉強が難しそうだし、学校が嫌だから ・勉強も難しくなるし、友達ともほぼ中学違うから。
- ・勉強ができるか ・中学校に友達が少ない ・小学校のときもほぼ期待とかしていなかった
- ・中学は広いし、怖いし、クラス多くてみんなと離れたら悲しくなるから。トイレとかお化けがでそう
- ・中学校の友達から、あんまり期待するなと言われたから ・中学どういうのか不明だから
- ・小学校と同じだと思うから（服装以外） ・小学生より少し変わるだけだからない ・義務教育だから

(2) 中学生活への不安や心配



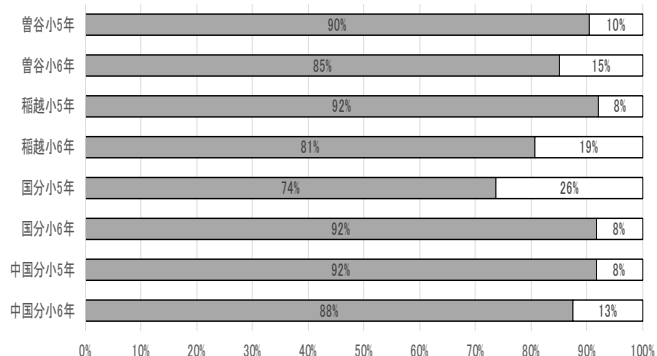
質問3 中学校の生活について、不安に思っていることや心配していることはありますか

□ある □ない

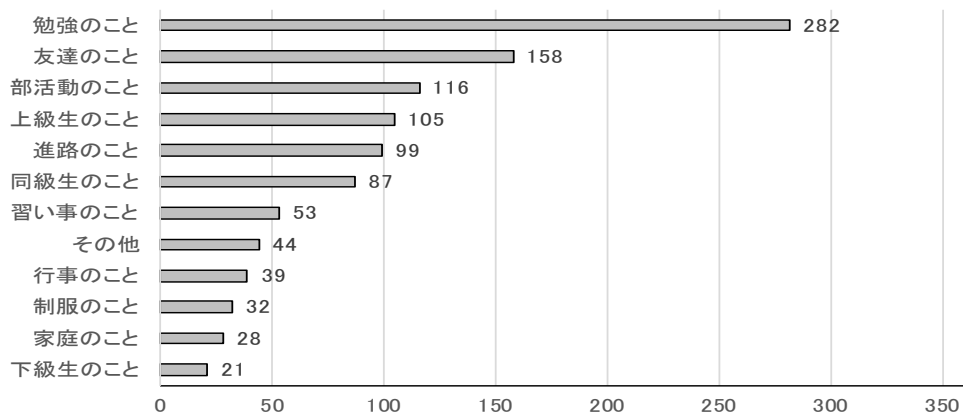


質問3 中学校の生活について、不安に思っていることや心配していることはありますか

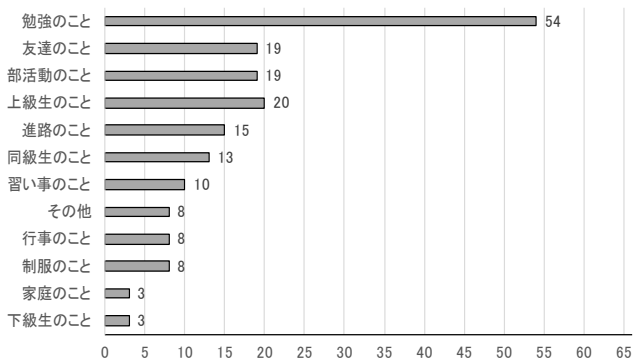
□ある □ない



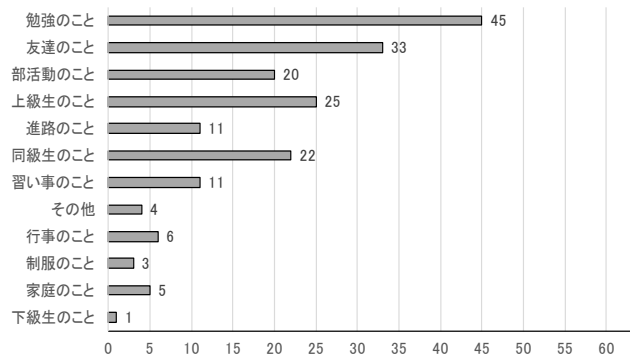
質問4 不安に思っていること、心配していることは何ですか



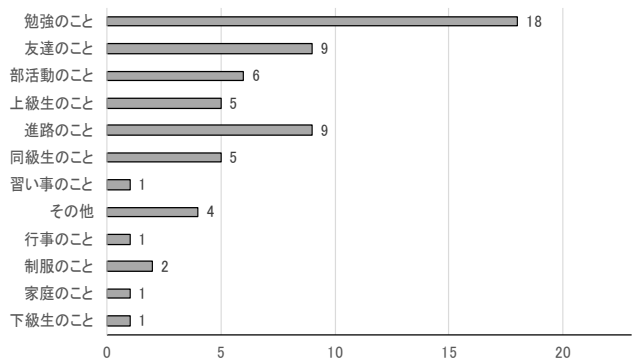
質問4 曾谷小5年生 66人



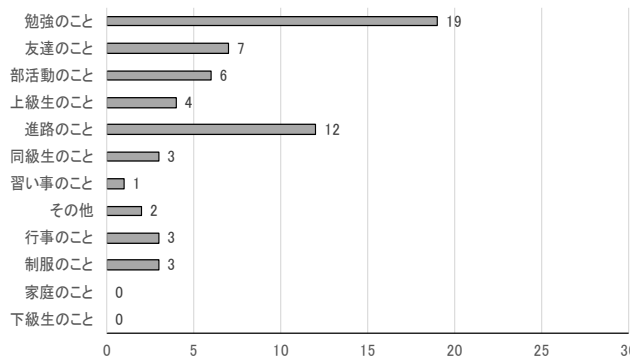
質問4 曾谷小6年生 63人

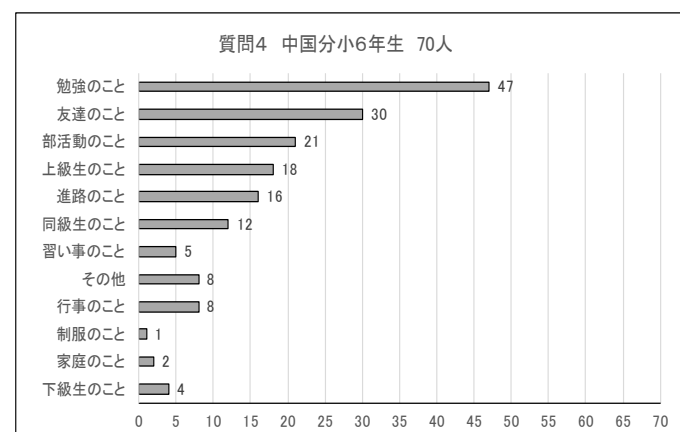
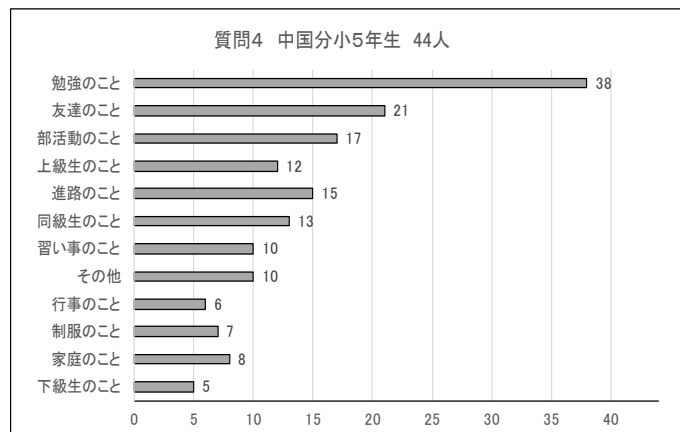
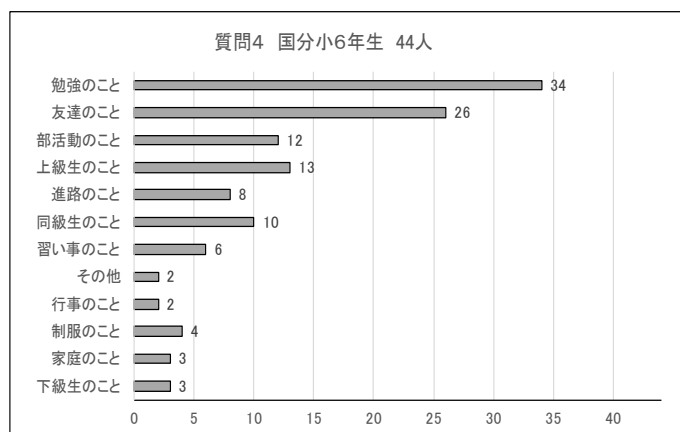
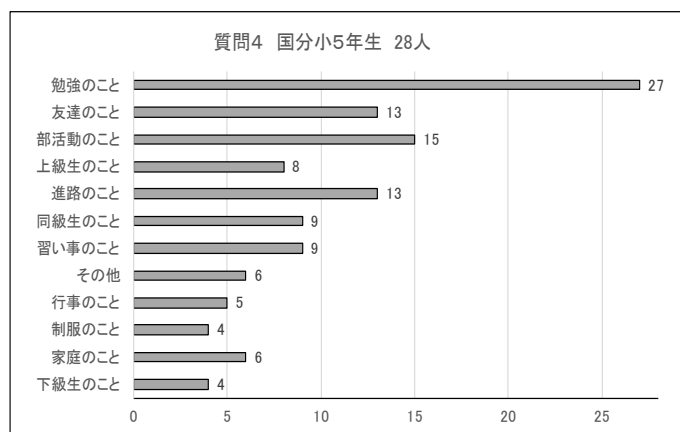


質問4 稲越小5年生 23人



質問4 稲越小6年生 25人



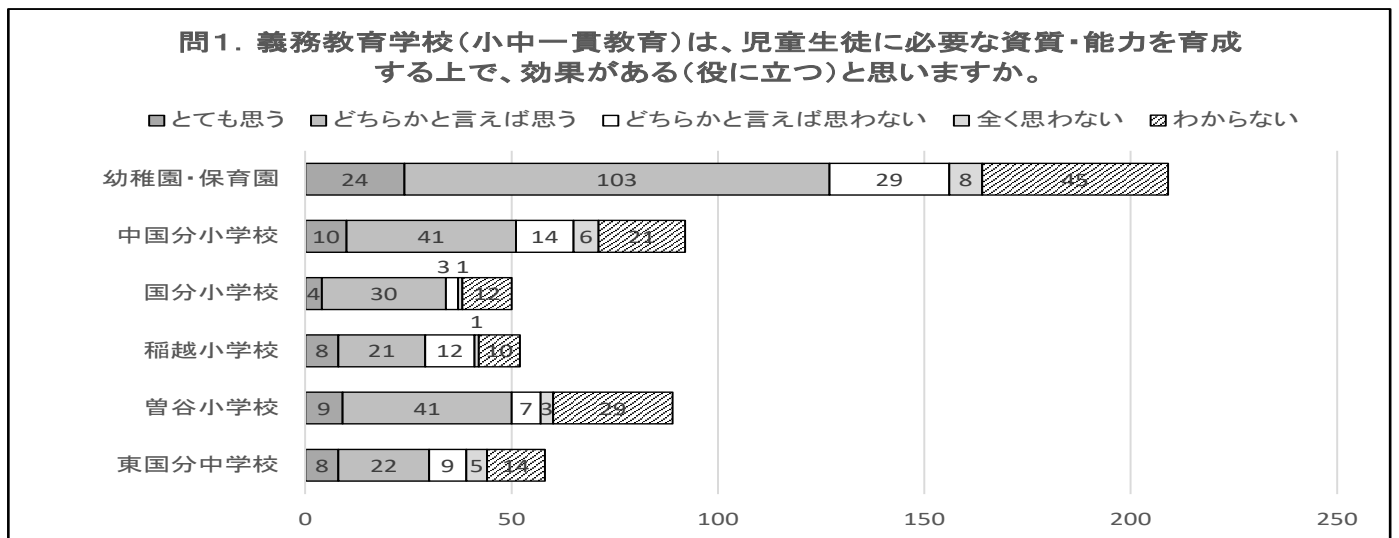
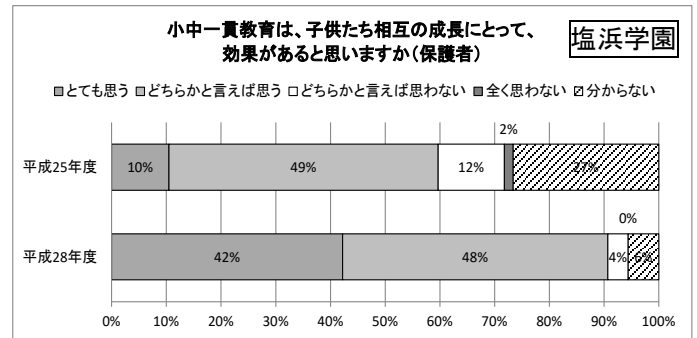
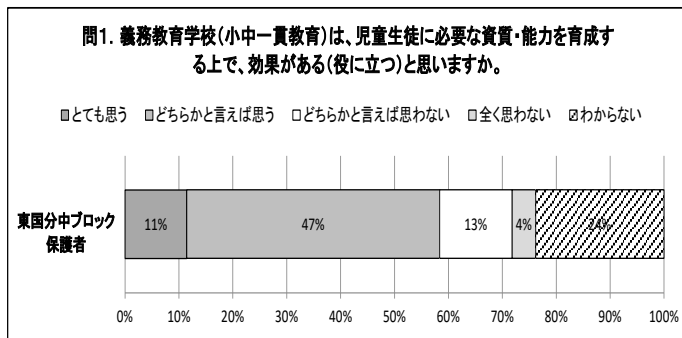


○不安に思っていることや心配していることが「ない」理由

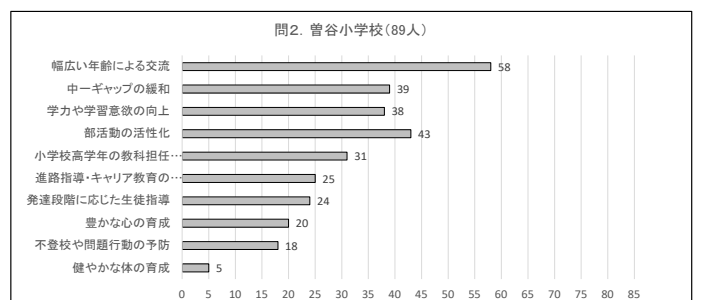
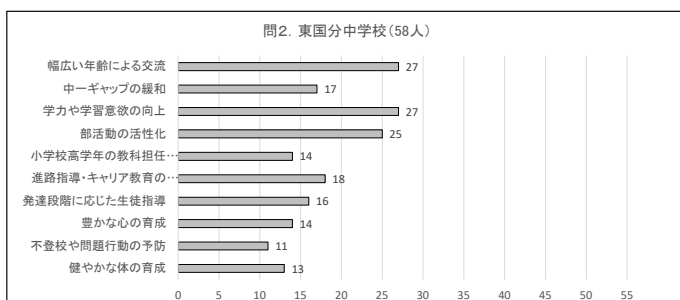
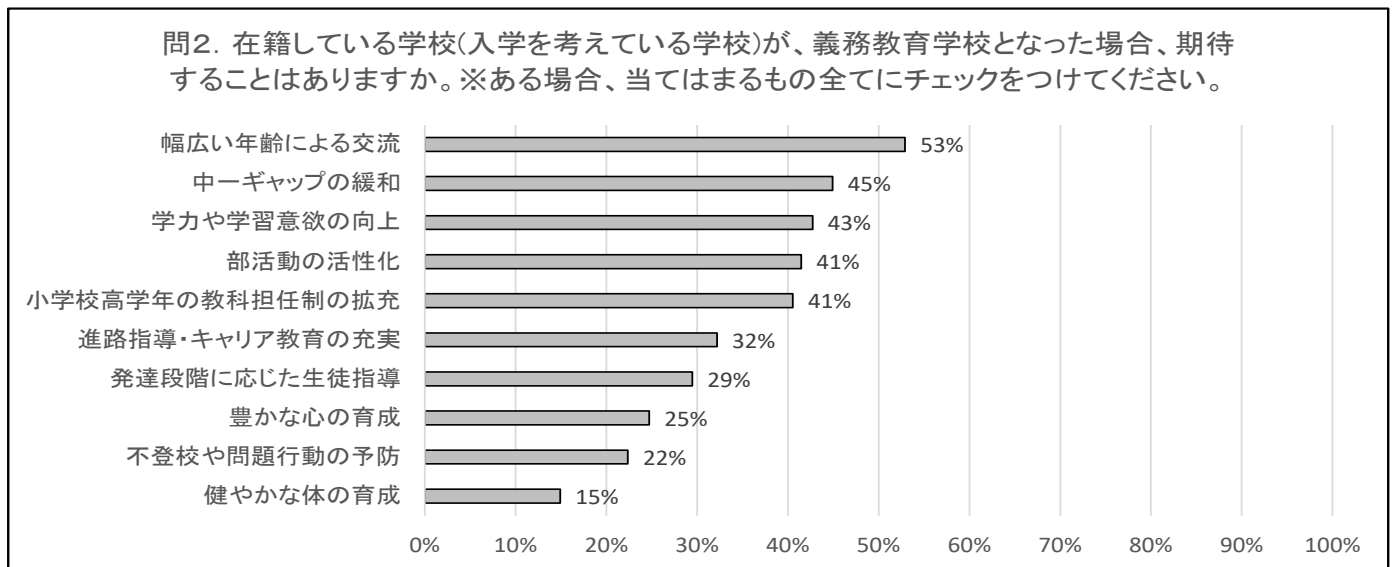
- ・兄が中学校に進級したときも、何も問題なかったし、困ったら相談する相手がいるから
- ・中学に兄や姉がいて色々教えてもらえるから
- ・中学校でもものすごく環境が変わるとは限らないから
- ・今までどおりにやればいいと思うから
- ・小学校生活とほぼ変わらないから
- ・中学校のことを知っているから
- ・説明会の時に父さんが「いい学校だと思うよ」と言っていたから。
- ・先生が自分のことをよく見ていてくれると信じているから
- ・友達同士助け合えるから
- ・同じ中学に知り合いがたくさんいるから
- ・もし困ったことがあったら友達に聞くから
- ・たいがいの人は仲良くなれるから
- ・同じ学校だった友達がいるから安心できる
- ・うまく友達になれるなど期待があるから
- ・小学校と違って友達も増えて、様々な行事をしてみたい。
- ・皆と仲間になりたいから。
- ・小学校のときも不安に思っていることがないから
- ・中学校は楽しそうでいじめとかがなさそうだから
- ・入試を受けたときプレゼンテーションや集団討論をしたのでみんな明るい学校だと思うから。
- ・自信に満ち溢れている
- ・毎日楽しくすごせると信じてながら笑顔ですごせば不安はなくなると思う
- ・とにかく中学校に行ってみたくわくわくしている
- ・中学にむけていろいろしているから
- ・楽しく自分の中学校生活をおくる
- ・勉強とかは、今からしっかりやれば大丈夫だと思う。
- ・小学校ではあまり勉強に引かかることがなかったので、中学校でもある程度頑張っていけると思う
- ・中学校は部活など小学校でなかったことにも挑戦できるから
- ・何事にも挑戦するから
- ・2年先のことから、何も考えていないため
- ・よくわからないから
- ・悩み事が特にないからです
- ・色々なことがありそうで今じゃ判断できない
- ・そういうことをあまり考えないから

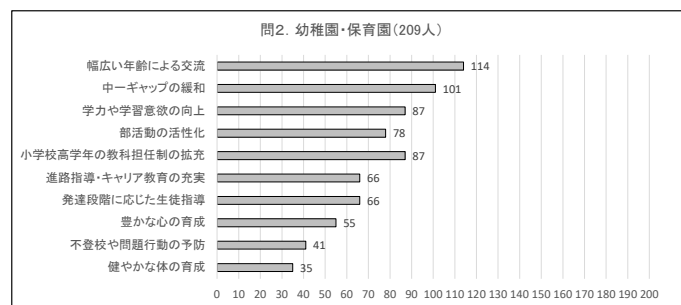
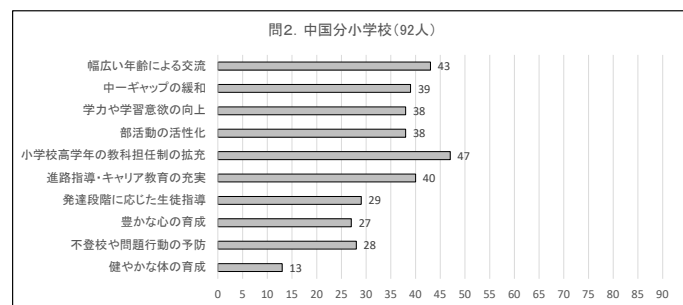
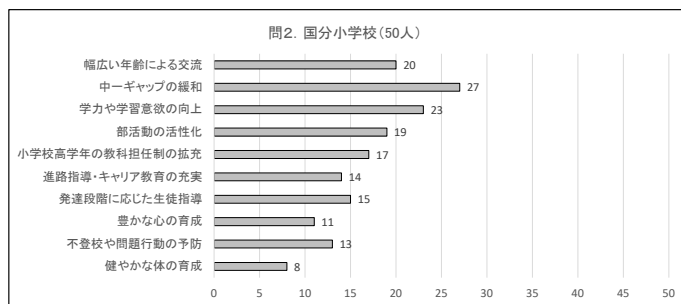
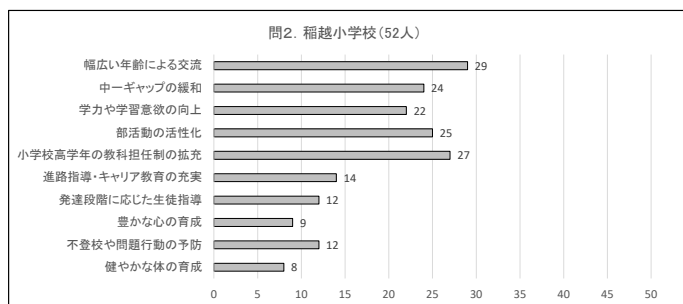
2 保護者アンケートの結果

(1) 義務教育学校（小中一貫教育）について



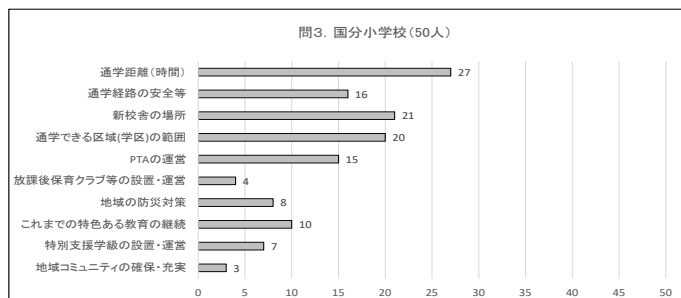
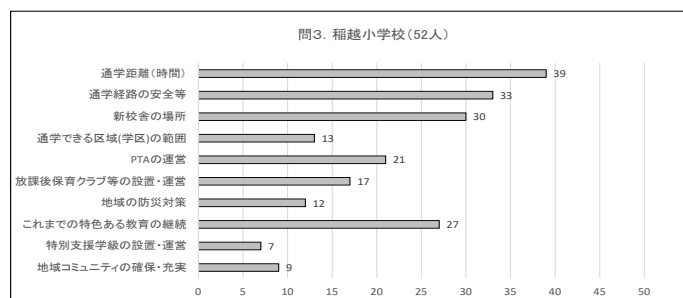
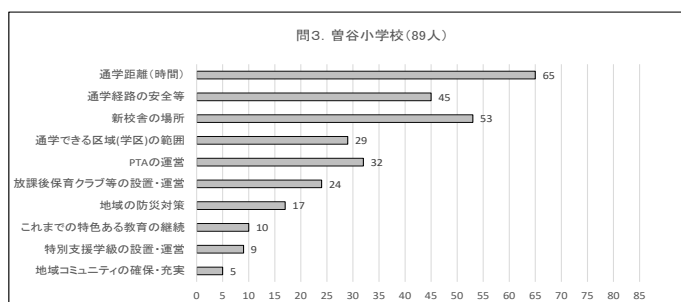
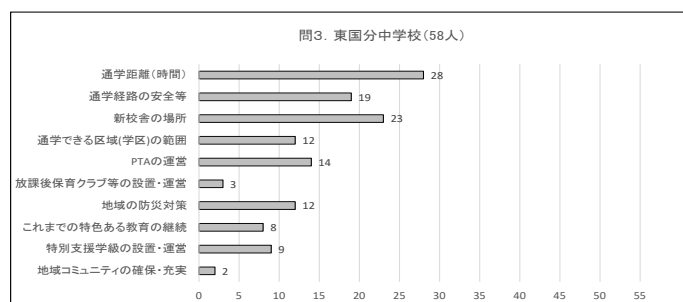
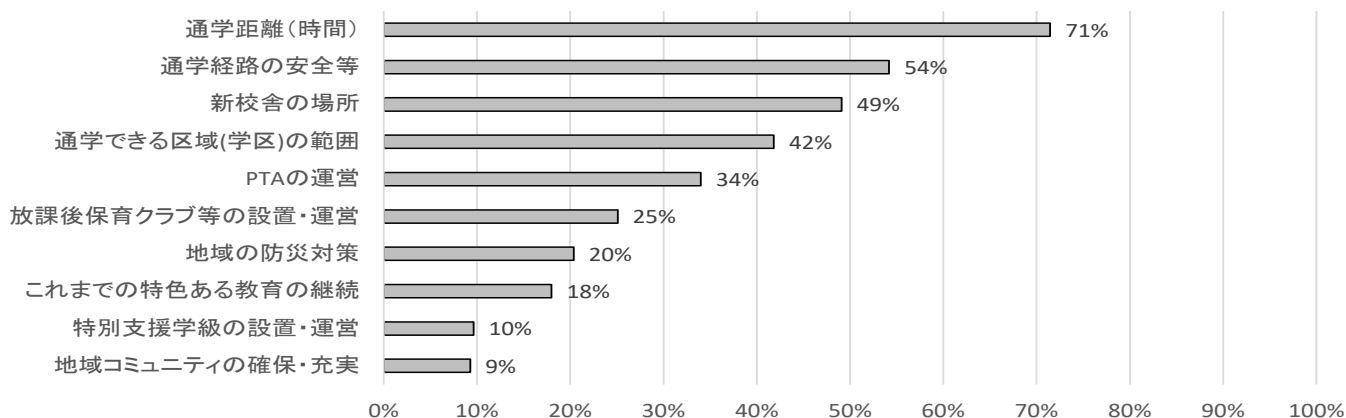
(2) 義務教育学校へ期待すること

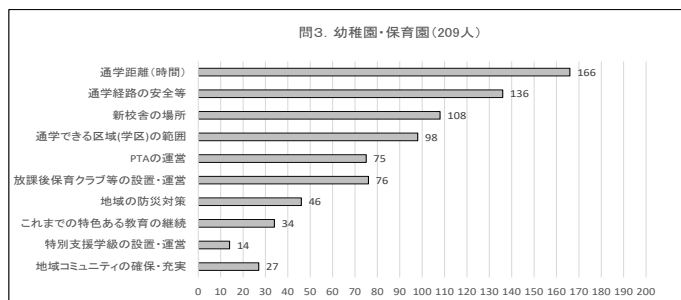
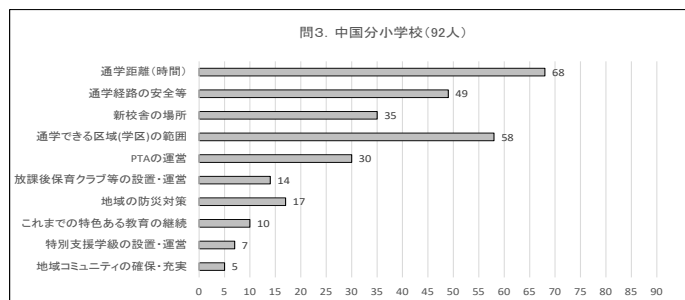




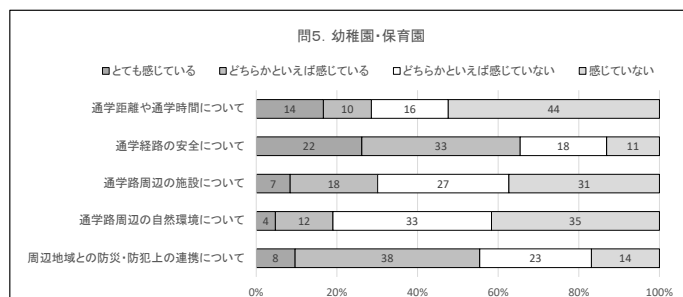
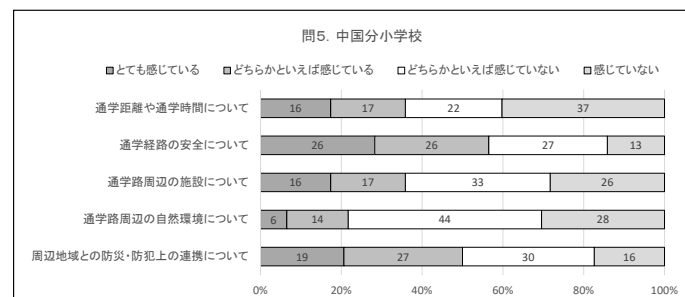
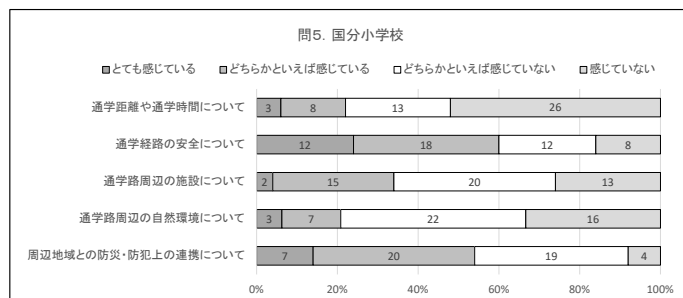
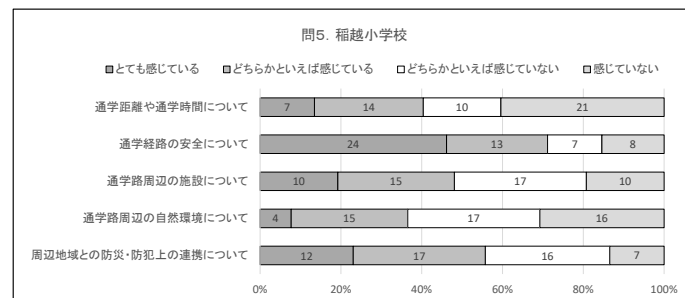
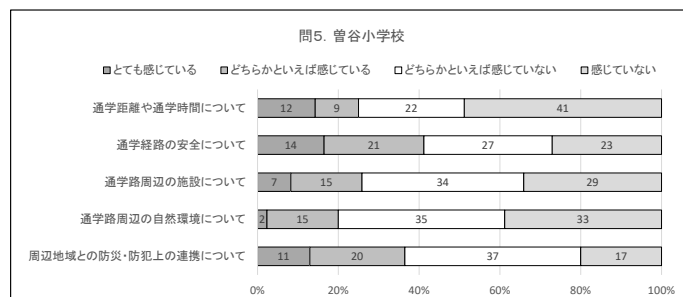
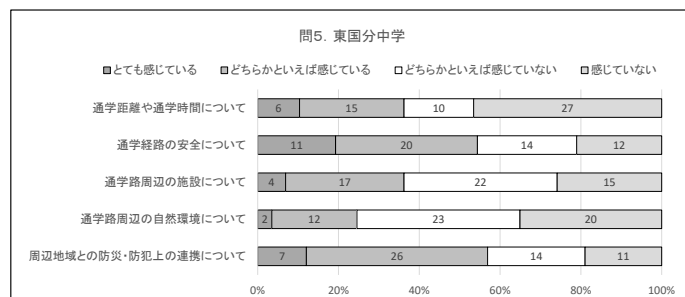
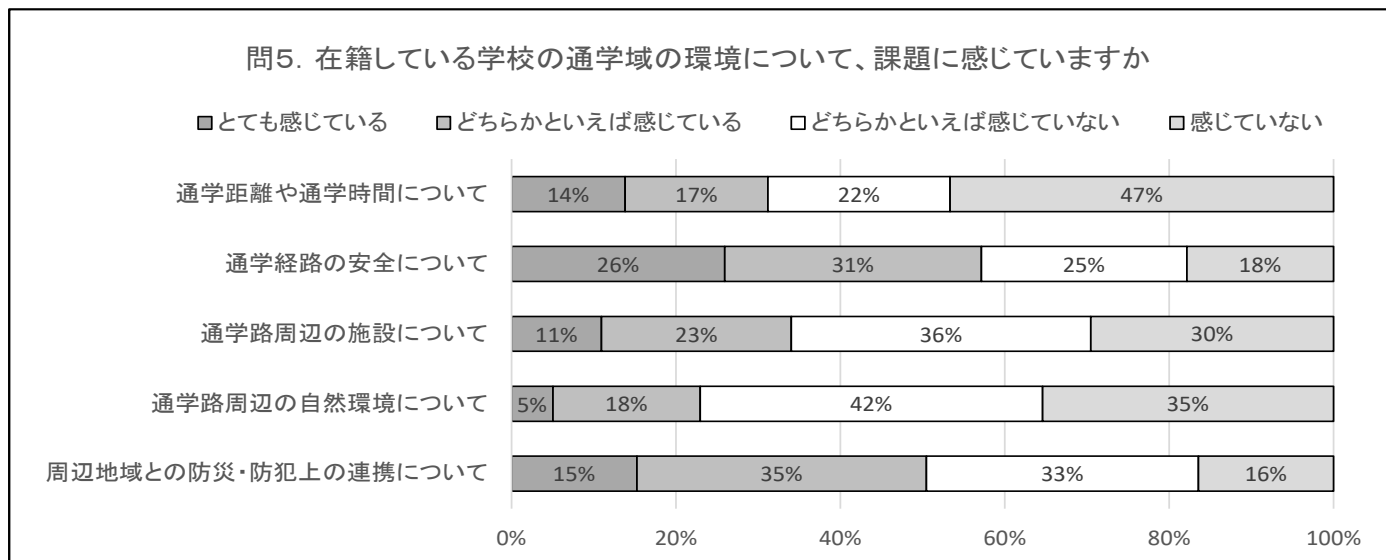
(3) 義務教育学校・一体型校舎への不安・課題

問3. 在籍している学校(入学を考えている学校)が、義務教育学校となり、現在と別の場所に小・中一体型の新校舎が整備される場合、不安に感じること(課題と考えること)はありますか。※ある場合は、当てはまるもの全てにチェックをつけてください。





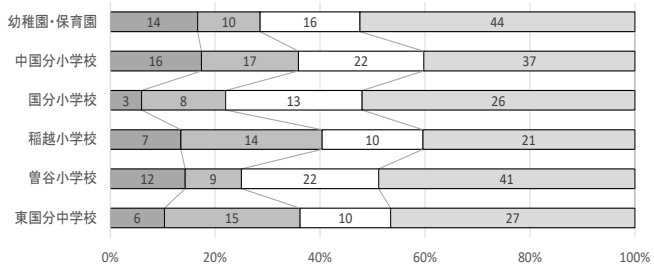
(4) 在籍している学校の通学区域の環境について (学校別)



(5) 在籍している学校の通学区域の環境について（項目別）

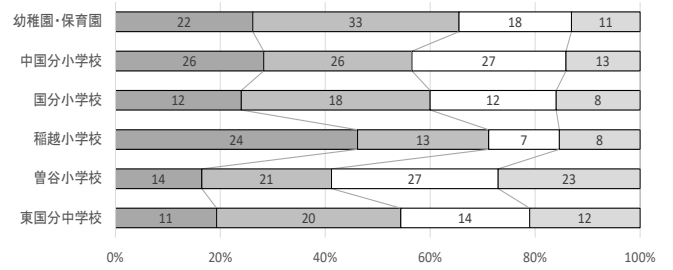
問5. 通学距離や通学時間について、課題に感じていますか

■とても感じている ■どちらかといえば感じている □どちらかといえば感じていない □感じていない



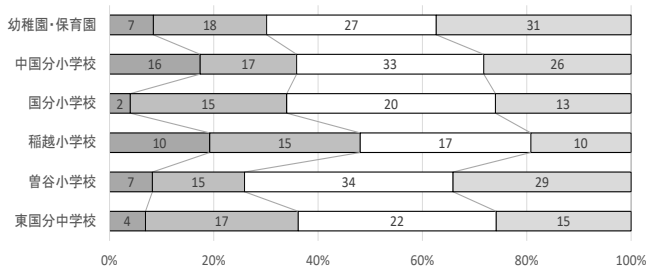
問5. 通学経路の安全について、課題に感じていますか

■とても感じている ■どちらかといえば感じている □どちらかといえば感じていない □感じていない



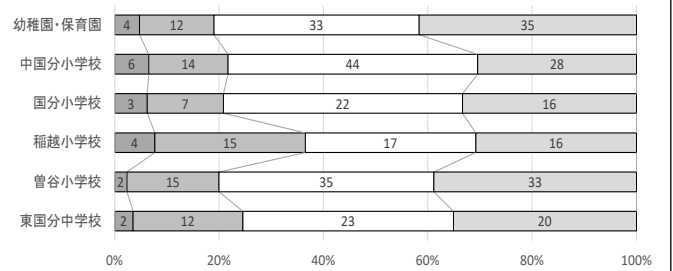
問5. 通学路周辺の施設について、課題に感じていますか

■とても感じている ■どちらかといえば感じている □どちらかといえば感じていない □感じていない



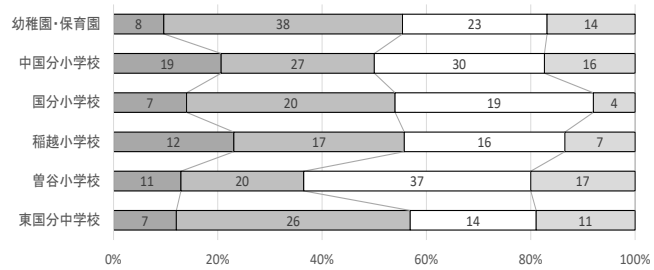
問5. 通学路周辺の自然環境について、課題に感じていますか

■とても感じている ■どちらかといえば感じている □どちらかといえば感じていない □感じていない



問5. 周辺地域との防災・防犯上の連携について、課題に感じていますか

■とても感じている ■どちらかといえば感じている □どちらかといえば感じていない □感じていない



3 保護者アンケートの自由記述

<通学路・通学距離>
○道路事情が悪すぎる区域のため、安全な通学路の確保が最も心配な点です。かと言って登下校パトロールなど、PTA の活動は仕事をしている身としては、仕事を休んでまで参加できるものではありません。平日は保育園の送迎や介護などもこなし、週末には家事や通院などをあて時間的余裕がない中、当番でと言われても責任は持てません。毎日の宿題チェックも然り、家庭での負担軽減をお願いします。
○通学路である歩道が狭く、歩道として確保できていないところは児童が道路の真ん中を歩いていることがある。通学路の安全性を見直していただきたい。また、電柱の地中化を進めていただき道路を広くしてほしい。
○現在で通学に 30 分近くかかっている。遠くなったらと思うと心配。
○義務教育学校の設置については一番は通学距離を心配しています。今でも坂道に 25 分の距離。これ以上になりますと低学年では難しいと感じます。天候によっては休ませることを考えると思います。確かに良い部分はあるかもしれませんが今の段階ですと反対です。
○通学の面で遠くなる事も心配です。最近はこの地域も交通量が増えたので。
○通学距離と安全の確保。
○今まで三中の学区で三中まで近かったのに東国分中になると、かなり遠くなります。なので今まで通りにしてほしい。
○概要として書かれているものは肯定的に受け取っていますし、意義のあることだと感じています。それを実現するためにも・安全性が確保された通学方法(距離がある生徒への対応)・教職員のスキルの高さを求めます。
○今よりも学校が遠くなると子どもが歩いて通えるか不安。
○エリアが広すぎて、登校できない距離なのではないかと不安。
○北国分地区はどこの学校も遠すぎる。小学校の時点で毎朝7時には家を出ないと間に合わず、中学校はさらに遠くなるので、せめて中学だけでも自転車通学などの考慮がほしい。変質者などからたびたび子供が声をかけられることがあり、とても心配。
○東国分中学校学区の通学路について、道の駅脇の歩道の設置をお願いしたいと思います。周辺も人通りが少なく、防犯の意味でも心配があります。国分川の河川の氾濫なども気になります。防犯等例えば、道の駅に警察立ち寄り所ボックスなど、改善をお願いしたいと思います。
<施設・場所>
○防災、安全の観点からは、遠い学校へ通うのは、低学年には厳しい。
○曾谷小ですが、窓枠などの劣化が激しく、暖房器具も壊れていると言っています。もう、我慢をさせるのはかわいそうなので、校舎がきれいになることは、いいと思います。
○小学校の学区が中学ブロックと違うため、一体化のメリットを感じられず、不安が大きい。家庭の希望がない限り基本的に、小学校→中学校でブロックが変わらないのであればよい施策と思います。
○義務教育学校のメリットの 1 つとして 4 年+3 年+2 年などの裁量があると挙げられているが、難関高校受験対策としての学習指導早期化につながるだけに思う。
○小中一貫より、中高一貫を作る方が学習モデルとして理にかなっていると思う。市川市の小中一貫計画は、校舎の老朽化が理由に計画されているようにしか思えない。小中一貫を目指すなら学年の壁を取り払ってみるのはいかがでしょうか。
○中 1 ギャップなんて気にするより、他者と常に協業していく姿勢を学べる環境にする方が絶対役に立つ

○曾谷小学校に通っているが、中学校は学区が第三中学校の場合はどうなるのか。また、移行期間が不安定にならないか心配。
○学年数が増えて施設利用の調整が必要になる。
○検討委員会だよりによると、一体型施設完成予定が令和12年のようですが、現在小学1年生の子供がいて最少学年の子ですら、一体型校舎には通えないと言うことでしょうか？
○今は国分小に通っていますが、中学校は二中と思っていました。そういう場合はどうなるんですか？新たに学区編成があるんでしょうか？
○学校が古くて汚いので、在席中にやってほしいくらいです。
○義務教育学校が出来た場合、統合された学校は廃校になるのか。廃校になった場合、災害時に避難する場所はどうなるのか。
○校舎の建て方。体育祭や防災時、登下校時の混乱。人の出入りが頻発するので、防犯対策の強化が必要。現在、在籍学校周辺には学校用品を取り扱う店がないので、出来ると良い。
○校舎が離れている場合、義務教育学校の効果が薄れることはないのでしょうか。先生方や生徒の移動に時間が必要だったり、安全性など問題があるように感じます。
○小中在籍中に別の学校への校舎の移動や、工事による学校行事の縮小、または中止などの在籍中に起こる環境の変化が心配です。新しい合同の学校設備がすべて完成してから始まるのか、バラバラの学校から徐々に生徒や校舎の機能を移していくのかをはっきり知りたいです。それにより小学校入学を検討したいと考えています。
○市川市さん、もう少し市立学校にお金をかけてください。校舎の耐震も大切ですが校舎が汚すぎる。ゴミブリがでる。トイレも汚くて子供達も使いたくない。上履きはすぐ真っ黒。市川植物園(入園無料)や歴史博物館の維持にいくらかかっていますか。無駄な施設。これらにお金かけるなら子供達の学校施設改善にお金を回して欲しい。
○小中一体型の新校舎や、学区が整備されてからの導入であれば期待はできる。しかし、今回のアンケートのケースでは、導入切り替えの狭間の学年は、不安とリスクしかないのでは。学区の範囲において、塩浜学園とは異なり、あまりにも広域であり比較にならない。子供の教育や環境を第一に考えるのであれば、塩浜学園に近い条件の小中学校のブロックを選択するべきなのでは。
○曾谷小が建て替えるのは、決まっているようだが、その間 曾谷小土地内に 仮校舎が出来るのか、他の学校に通うことになるのか。
○家から学校までの通学がしやすく、教育環境が良いのであれば設置に賛同します。
○新校舎の設置場所は、通学する子どもたちの自宅の場所を十分把握して検討してほしい。特に稲越小の松戸市に接した辺りの自宅の子は、新校舎が一番近い学校となると思うので、今の校舎より遠くなると厳しいと思われる。(曾谷小学区の子は、百合台小も国分小も選べるので)
○子供のことを考え、通学距離の短い場所に家を構えました。学校の所在地が変わり、通学距離が長くなることは、不本意です。
○もし現在通っている学校と違う場所になる場合、子供の通学距離がかなり遠くなります。その場合、通学路の街灯・歩道・防犯カメラなどの設置・整備、また通学バスなども検討課題に入れて欲しいです。
○義務教育学校の設置は市の取り組みとして良いことだと思いますが、学校建設できる場所を選んでるように感じます。今後学校として長く続けていけるように、子供が減っていくような場所は賛成できません。
○新校舎が遠くなるのは嫌だなと思います。
○進学すると思っていた学区の中学校と違うので、義務教育学校となる場合、中学校に進学したら学校を変えようか検討中です。距離が遠くなった場合のスクールバスなどあれば良いと思います。

<学習・学力>	
○中学受験をする子供に対する配慮をしてもらいたい	
○賛成です。英語教科化、プログラミング学習など小学校では大幅な教育改革が行われているので、小中の先生方の協力の必要性を感じます。また小中一貫教育であれば、学び直しもし易い環境ですし、上級生が下級生に教えることで学習を定着できるなどの効果もできると思います。	
○学区外の小学校から入学の場合授業の遅れや一貫性のない教育や一貫性ゆえに外部の小学校からの人間関係など大丈夫なのか	
○説明会の際にお話しいただいた、小6の一部カリキュラムと中1の一部カリキュラムを交換して勉強することが可能という件があったのですが、他県へ転勤になった際や三中に進学する子供や、他小学校から入学してくる子供への配慮はどうするのか等の方針をしっかりと説明していただきたいです。	
○入学を予定している小学校の特色に共感して兄弟は学区外から通っています。少人数の雰囲気も気に入っています。義務教育学校になることで各学校の特色がなくなることになるので残念です。イメージがなかなか湧かないので、今は不安しかありません。	
○教科担任制は中1以前から導入し、専門性の高い教師による授業が展開されるようにする。義務教育学校に限ったことではないが、質の良い教員を十分に確保するのと、そのための教師の待遇改善・働き方改革、部活動指導者の外部委託などを早急に進める。	
○中学校を受験して他の学校に行こうとしている場合はどうなるのか。学習範囲などがついてこれるのか心配。	
○子供自身の環境の変化に困惑する事や高校受験には学業は影響ないか心配です。	
○小中一貫校は、中学受験(中高一貫校希望者)が増加の一途である市川市で流行らないと思います。	
○学習カリキュラムの柔軟性について、引っ越し等で、転入・転出となった場合、どのように対応するのでしょうか？	
○規模が大きくなると、生徒一人一人に目が届かなくなるのでは、と思います。決め細かな指導・教育ができるような、人員配置をお願いしたいです。	
○小学校低学年時の理解度の違いなどにより、相応でない学習(必要以上の高等教育)の推進が進められないことを願います。	
○中学の受験を考えている場合の対応。	
<教員の負担>	
○義務教育学校の必要性に説得力がありません。ただの統廃合としか思えません。「専門性の高い指導」というのは中学校の先生方が担当されるという前提でしょうか。元中学校教諭として、それは教師の仕事が増えるだけ先生方の破綻しか想像できません。そのせいで一人一人を大切にできる教育ができなくなるのではないのでしょうか。無理をしないで普通の教育で十分だと思います。	
○改革なら小学校から担任制をやめてみる又は完全副担任制導入。気の合わない担任に一年間の授業を持たれる恐怖、日常接していない校長か教頭にしか訴える窓口がない恐怖。中1ギャップ言葉に踊らされず小学生の現状をもっと精査してほしい 一貫校になれば中学部教師の負担が増える事も忘れてはいけない。	
○教師も不慣れで安定するまで時間がかかるのでは？	
○教員の多忙感や負担の増加がある中で十分な指導、教育はできるのか不安です。	
○一貫教育もいいですが、子供たちの学校生活においては、教職員による影響がかなり大きいと感じます。	
○小学校の先生方への手当を厚くし、意欲を持って働けるよう、引いては子供への教育充実につながるよう、より一層のサポートを市として推進お願いします。	

<特別支援>
○統合されることによって、配慮の必要な児童の対応に支障が出ないようにして欲しい。対応する職員が減ることのないように。
○現在、支援級なのですが、親の会や学習などにも対応して頂けたら嬉しいです！
○特別支援学級と通級指導教室の確保及び拡大
○支援学級と通級が設置されている中国分小学校は東国分中学に行く子が多くなると思うのに、中国分小学校は対象ではないのが疑問。

<生徒指導>
○今の学校の異学年交流の機会や風習が失われるのならば、小中一貫校にはならない方が良い。
○小中一貫になったら、新しい環境で新たに頑張ろうとする気持ちがなくなるのでは。モチベーションが下がりだらだらしてしまいそう。また、いじめなど増えそう。不登校やいじめられっこが変えられる機会がなくなる。逆に強い子は余計に権力を増していく。
○上の子は小学校でなかなか友達ができず、中学からは同じ小学校の子がいない中学に進みました。そして、沢山の友達ができ、楽しい3年間を過ごしました。 中一ギャップもあるかもしれませんが、中学から、気持ちを新たに頑張りたい子供もいます。そのような子にとっては、小中学校が1つとなってしまう場合、9年間はあまりにも長いと思います。
○勉強以外の遊びを通じた学びや、小学校・中学校で周囲の外部環境が変わることが環境対応力を養い、社会人となって大きく役立つと思う。
○集団の中の年長者としての自覚と責任を感じる機会が減る。・中学生になる！という喜びが減る。・同級生と合わなかった時に自然に違う学校に変えてやり直す機会が失われる。・環境変化に順応しやすい年頃に 9 年も同じ環境だと次へ進む時に馴染むのが大変そう。(変化に対応出来ず引きこもらないか？)
○一貫教育になると色々な所から子供達が通うことになるので、稲越で馴染めてきた所でまた1からとなるとまた子供が馴染めるかが心配
○中一ギャップの緩和がどの様に行われているのかが気になります。私(昭和45年生まれ)の年代ですと、中学になると、不良が真面目な子をいじめる等の問題ありました。又、小学生高学年になると子供ながら優劣の差、立ち位置などが生まれました。その差が、中学生になって続くとなると、逆に不安でもあります。我々の頃との違いや、緩和の詳細な情報が欲しいです。
○中1ギャップ、初めて聞きました。新しい環境の中で新しい人間関係を構築していく力を身につけていくことも社会に出ていく上で必要なのではと思います。
○中学校の目新しさが失われてしまう。
○人間関係が9年間固定化しやすい。他の学校に移るときに苦労する。
○学校が巨大化し目が届きづらくなる恐れ。
○9年間環境の変化のないまま成長してしまうと高一ギャップになるのではないかと思います。大人になっても環境の変化はついてくるので(就職、進学、転勤等)大人が手厚く見れる間に多少の環境の変化に慣れる経験を積むのは大切だと思う。ゆくゆく環境の変化があった時に柔軟な子なのか、戸惑う子なのか、知る為にも必要ではないかと思う。
○中1ギャップを推してくるのには疑問に思います。小6の子に不安があるかどうか聞けば、不安があるのは当然です。知らない世界に飛び込むのは勇気がいる事です、でもいざ飛び込むと思ったほどではなかったりもします。小学校と中学校を一緒にしたから解決する様な問題ではないし、色々な節目がその先には待っています。

○中学校が違う学区の場合 9 年生(4 年ー3 年ー2 年)という区切りをつくと違う中学校に行ったらうまくやって行けないのでは？
○中 1 ギャップというが、社会に出たら違う環境で生活するのが当たり前で、節目で環境が変わる機会は必要であると思う。
○学区によっては中学から一緒になるお子さんもいるかと思います。その場合、馴染めるのかどうか心配です。 中国分小→東国分中
○中学在籍中からの新制度となると、生徒の心身のバランスや受験に影響しないか。
○6 年生の最高学年や、中1生としての心構えの低下。
○小学 1 年生と中学生 3 年生では、赤ちゃんと大人が一緒にいるようなもの。中学生にとってメリットとなるのが何一つ思いつきませんが…。やめて頂きたいです。
○イジメがあったらイジメから逃げられなそう。子供は大人の目のない所でイジメをする。逃げるとしたら転校だと思いが引っ越しをしない私立などの転校だったら延々とイジメが続きそう。
○小中一貫教育で一番に思うのはいじめや不良、問題行動への不安です。思春期を通る時期にひとつのコミュニティ内に年の離れた人間が多くいること。公立小中学校でどこまで目が届くのか、また、我が子にその学校内で人間関係に問題があったとき、卒業を区切りとして離れることが難しくなるんじゃないかと不安に思います。
○同じ生徒で9年も過ごすといじめ問題が益々増えそうで心配です。
○小学校で不登校になった子供が中学校に入学するときに環境の変化などちょっとしたきっかけで頑張って学校に少しでも登校しようと思う子供がいるかもしれません。小中一貫にしまうと周りの子供たち全部が同じ。不登校の子供からしたらキツイのでは？弱い子供の身にもなってもらいたい。私は中学の時不登校でしたが高校は皆勤賞でした。私みたいに環境が変わるだけで先の人生も変わります。不登校の子供を助けたいので反対です。
○9 年間とゆう長い間、ほぼ同じ顔触れの仲間と共に過ごす中、イジメやトラブルなどの問題が起きた時の対応や対処が、一貫にする事によって、さらに難しくなるのではないかと思います。
○小学校で不登校になった子供が中学入学という環境の変化で登校しようと頑張る子供がいると思う。一貫にしまうと周りの友達も同じ。不登校の子供からしたらキツイのでは？一貫に反対です。
○いじめ等による不登校が増えるのではないかと
○今小6で、今年中学へ上がるので、本人なりに緊張や意気込みの様なものを感じている様子だが、一貫となると気持ちの切り替えが難しくダラダラになってしまう気がする。
○現在の小学校の良さ(縦割り、少人数ならでは)がなくなるのは寂しいなどは率直に感じます。また、6 年生で最高学年を経る(憧れてから)→中学校でもまたステップを踏むという流れの良さもどうにか残ってもらえると嬉しいです。
○小学校と中学校の学区が違う場合、どの様になるのか
○異年齢交流は魅力的ですが、体格の違いすぎる子供たちが一同に会するのは事故の危険があります。興味や発達段階の違いすぎる点も、生徒が一丸となって物事を達成するのが難しいと思います。譲り合うことは大切ですが、自分の意見を言えずに不完全燃焼になる生徒や学年が出てくる可能性もあると思います。
○曾谷小→3 中エリア在住です。曾谷小から 3 中に行く子が少ないと心配していたので、義務教育学級でそのまま同じ中学校に行けるのは安心です。
○同じ学校に通うのに、9 年は長すぎると感じる。環境が変わって心機一転、というのも大事では。
○統合により子供達も多少なり動揺、混乱、疲労すると思うので、それにより、イジメが起きやすくなったり、多様性のある子供が普通級で理解、受容され辛くなったりしないのかどうかも気になる。現在通っている学校は、優しい子や理解、受容しようとする子が多い校風なので。

<学校運営>
○小学校高学年からの教科担任制によって、現在の形での担任との結び付き・関係性が薄れてしまわないか心配です。
○小学校高学年からの教科担任制によって、現在の形での担任の先生との結び付き・関係性が薄れてしまわないか、先生が子供達それぞれの特性を理解し、個々の個性を伸ばす事が出来るか心配です。
○着用物の変更等で新たな出費が発生する可能性。
○担任ではなく教科担任制の拡充がどんどん進むのなら、担任と合わずに苦しんでいるうちの子みたいな場合楽になるから大歓迎である
○学校と保護者との交流、保護者間の交流などをできる範囲でやってほしい。
○講師ではなく教師に担任をもつようになってほしい
○6年生の卒業式はなくなるのか、それらしい修了式はやるのか？・運動会は 小中一緒にやるのか？短時間化が進む中、時間上、子供たちの負担ではないか？
○PTA 制度の緩和、学習範囲等の統一、生徒と先生が向き合える環境を作ってほしい。

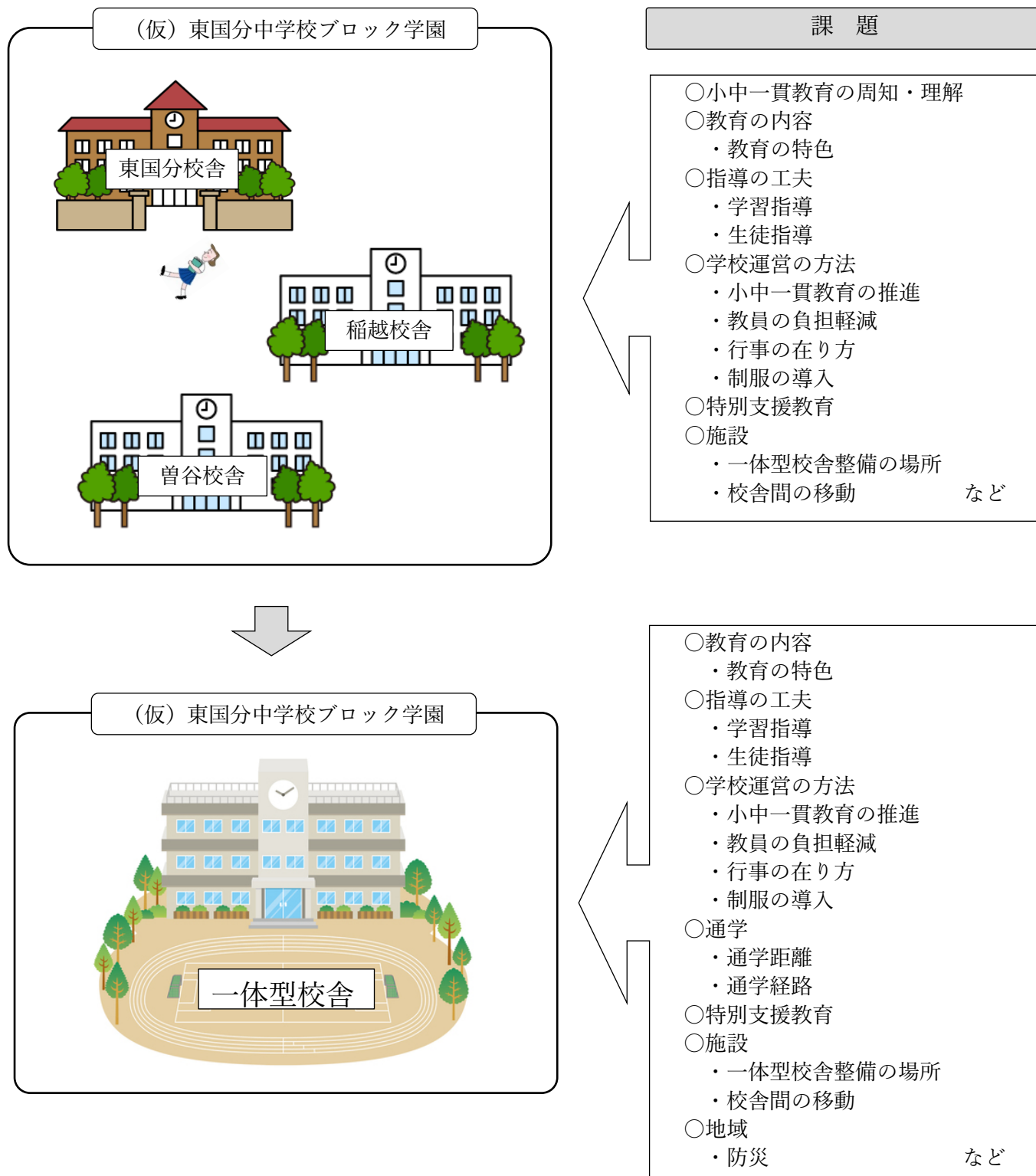
<周知>
○小学校卒業後中学校入学は誰もが知る常識。親子のケアの具体策を挙げて。国が少子化対策する中、逆行では？人口が増えたら？何人まで受入可能？生徒数で一貫にしたり分けたりもあるの？塩浜学園は、元々小学校と中学校が隣合い交流があり一貫になったらしいので、参考例にならない。苦労や不便を生じた方もいたはず。そういう声も聞きたい。いいところばかりではなく、悪いところも含めて考えるべき。
○配られた概要を読んでメリットばかり書いてあるが、この前行われた公立保育園統廃合の話もあり、小学校も統廃合するんだと感じた。この際、市での負担額が大きいとか、少子化の影響で統合するなどハッキリ書いてもらった方が納得できるのでは？メリットや親が感じるデメリットのアンケートではなく、小中一貫校にした場合の市としての課題なども記載すべきではないかと思う。不安しかない。
○プリントを読んだら義務教育学校設置ありきの話ばかりで理想論者の妄想にしか感じなかった。例えば中 1 ギャップの前に小学生がなぜ不登校になるのか？その解決策を提案できていない。聞き耳の良い文言ばかりで裏にある本当の目的(経費節減とか)にはまるで触れていない。信用出来ない。素晴らしい案なら一中和市川小でやれば？と思うのは私だけ？
○現在の小中学切り分けより何が子供の能力向上に繋がるかが見えてこないのが、不安です。
○説明会等の印象は、財政的な問題と学校数を減らしたいという自治体側の都合によるものという印象が強かったです。塩浜学園に関するデータも、年数が浅いと思います。今、小さい学校かもしれませんが、先生方が全校生徒を把握し関わってくれていています。保護者とも情報共有ができています。市や教育委員会の都合だけで物事を進めるようなことだけはしないでいただきたいです。
○塩浜学園で高い効果が見られているとの記載がありますが、思う・思わないというような抽象的な結果ではなく具体的に効果が出ていることをはっきりした数字で示してもらわないと、賛成反対と現段階では言いにくいかなと思いました。
○小学校が合併するのは理解が出来ますが、中学校をくっつける魅力がまだ見えない所が現在の気持ちです。
○現在、転勤による途中入学のため、子供の客観的な学力やその地域にどんな進路があるのか、学校の特色など、まだ見えてきません。一貫になるとそういった方針が分かりやすくなるのでしょうか。転勤族にとってみれば、中学に入る際に人間関係などがリセットされる感覚があるので、そのタイミングで転校しやすいです。進路が小学生のうちにだいたい意識出来ると、目標を持ちやすいです。

○通っている学校は小規模で雰囲気の良いから選び学区外から通っています。義務教育学校になることで学校の特色はなくなることになります。残念です。実際、いいことの情報しかないのではなかなかイメージが湧かない中、今は不安しかありません。
○学校行事など、これまで全学年単位でやっていたものの開催の仕方をして欲しいです。たとえば運動会(体育祭)を9学年一緒にやるのか、など。中3と小1が同じグラウンドで活動するのは、普段の昼休みも含めて不安な要素が大きいの、安全面も合わせて示して欲しいです。
○設置場所、通学路、学業すべてにおいてまだわからないので、不安です。
○今のところ、メリットよりも不安の方が大きいです。
○中学生と一緒にすることで、いじめや風紀の面で不安があります。
○実際に塩浜学園に通われている生徒や親御さん達の声(感想など)を拝見したい。
○塩浜学園の具体的な成果がいまいちわからない。
○塩浜学園はどのようにしてるのか
○メリットとデメリットの両方の情報がほしいです。説明会では学校行事を合同にやるとのことでしたが、小1と中3では成長の段階が違いすぎて困難があるのではないかと感じました。
○現在幼稚園に通っています。国分小学校、東国分中学校の学区に住んでますが、この場合はどこの中学校に行くことになるのか不安です。子どもは知っているお友達と一緒に通えることが一番安心できるようで近所の中学生は越境して二中に通っています。中学はまだ先ですが開始がいつになるのか早く知りたいです。
○中1で一貫校ではない中学校に進学した生徒や、保護者の声も知りたい
○実際通わせている方から率直なデメリットも伺いたい。特に遠距離になった方で、自主送迎が難しい方等のお話を。

<その他>
○情報が少なすぎて全然わかりません。
○配布された概要の説明に「9年間を「4年―3年―2年」のように学年段階の区切りを柔軟に設定して、発達段階に合わせた指導及び活動を行うことができる」とありますが、どのような内容なのかイメージできません。もう少し具体的に説明して欲しいです。
○市川市は指定校を変更することができ、狭い学区の中でいくつもの小学校があることで生徒数の偏りが著しく、中学校でも起こっています。この小中一貫校には国分小学校が含まれておらず、生徒数がただでさえ毎年減っているのにどうなってしまうのか心配です。
○評判の良くない中学が義務教育学校なるのと、これまでの評判の良い中学があるなら、後者を選びます。
○中国分小学校に通っていますが、東国分中学校学区です。兄弟もいるので一貫校になるのであれば早急に学区の変更をして頂きたいと思います。兄弟で別の中学校に通うのは避けたいと思っています。
○継続して教育することに意義はあると感じるが、昨今の教職員の質の低下を鑑みるに、質の低い教師によるレベルの低い教育から逃れられないのではないかと不安がある。職員の質をどう確保するかが一番の問題だと思う。
○中学生と小学生特に低学年それぞれの通常行動範囲の制限、要するに大きい子が小さい子にぶつかるの大怪我する懸念。ただし交流は大切。至る所に監視カメラ設置が必要。
○中1ギャップにこだわり過ぎて中学部から外部生を受け入れないのなら本末転倒
○現在、中国分小学校に通っているお子さんは、東国分中と一中に行く子と別れています。北国分方面に住んでいる子たちは大体、東国分中へ。その他の子たちは一中へという感じです。東国分中学校ブロックの中に中国分小学校が入っていない状況だと、北国分方面のお子さんは毎日の一中までの片道約1時間くらい掛けて登校しなくてははいけなくなります。

○学校統廃合に利用される恐れがある。
○国分小および中国分小に通っている東国分中学区の児童は、小学校入学の時点で指定学区が変更になるのですか？
○現在、小学校で活動しているコーラス部、ミニバスケットボール、吹奏楽部等はどうなるのですか。無くしてしまうのは勿体無いと思います。異学年の交流はこういった活動でもできます。
○PTA は勘違いなされている方がいるとカーストがひどくなると思いますので適正に運営できるよう議論を尽くしていただきたい。
○大人の目が適切に行き届きながらであれば素晴らしいと思います。
○中 1 ギャップというより、受験教育の閉塞感そのものをなくすような取り組みをしないと子供の負担は減らないと思う。
○小規模な小学校ならではの良さが失われるのではないかと心配。今の小学校の風紀や雰囲気が好きなので。
○PTA をなくしてほしい。子供の為だけの活動と思えないし、学校内の人員だけで済みますか、費用を徴収して外注すればよい。
○小中一貫教育にするなら、できるだけ早く設置・運営をして欲しいです。
○息子は通例だと三中学区になります。そうした児童も今回の義務教育学校の対象になるのですか？それとも三中か義務教育学校か選択制になるのでしょうか？
○子供は小学校は国分小学校学区です。義務教育学校になった場合入学は中学校からであり、9 年制に当てはまらなくなります。継続して学べる学区の子供は良いですが、その他の学区で中学から入学する子供はどうなるのか気になります。通学距離を考えて家を購入したばかりなのであまり学校が遠くなることも避けたいです。9 年制にするために東国分中学校に通える学区の範囲がせばまるなどの影響がないかも不安です。
○デメリットより、メリットの多いならいいと思います。
○国の義務教育が小中一貫になるなら問題はないが、市川市の、しかもそのほんの一部だけが小中一貫になった場合、転校が生じたら馴染めない。中一ギャップより困る。中一ギャップを減らす方法は他でよい。少子化なら小学校が増えていった逆で、昔に戻して減らすほうがよい。
○小学生にとっていいことは沢山あるかもしれませんが、中学生にとっていいことがみつけれません。
○9 年間という長い時間を子供たちが惰性に過ごすのでないかという不安があります。小学校、中学校は別であるからこそそのメリットは多くあると思います。
○一貫と言って校舎を別にしたら特段意味があるのか疑問です。曾谷と稲越が一緒になるのは元々からわかりますが、小中を同じにするなら須和田校舎を稲越に持ってきたのが疑問になると思いますが如何でしょうか？
○読書の習慣の必要
○一貫教育を受けたいならば、私立へ行けばいいと思います。人数が減った小学校は閉鎖して合併すればいいと思います。
○制度を始める前に学区を整備すべき。中 1 で内部進学と外部の学校の出入りがあつては、一貫教育のメリットが得られるとは思えない。新たなギャップが生じるのではないかと懸念がある。
○担任が全教科教える制度はこれを機に廃止すべきだと思います。
○統一をする・しない・するのならば何時から、何処で上記のことを期間を空けず、早めに決断してほしい。統一には賛成なので、出来れば子どもが通っている間に実現してほしい。この物事が長期化せずに、進んでいくよう望んでいます。
○中学から私立などを考えた場合、小学校だけ一貫教育にした場合はどうなるのか？国分小や中国分小は中学から一貫教育の場に入るのか？
○義務教育学校ができるのが楽しみです。一番上の子(小 2)が入れるといいなと思います。
○この制度に全く賛同できない。とても横暴だと思う。即刻撤回していただきたい。

4 義務教育学校の設置に係る課題



5 今後の協議の進め方について

- 検討・協議は、丁寧に、相応の時間をかけて進めます。
- 中学校ブロックごとに「小中一貫教育推進計画」を作成します。
- 計画作成の協議の中で、以下の点を明らかにします。
 - ① 小中一貫教育推進の学校体制の在り方（義務教育学校の設置 等）
 - ② 学校体制の在り方を具現化し、実効性を高める学校施設の在り方
 - ③ 学校体制及び学校施設の在り方を具現化する上で生じる課題の解決方策
 - ④ 学校体制及び学校施設の在り方を具現化するためのスケジュール
- 推進計画に沿って、小中一貫教育の推進（義務教育学校の設置等）に向けた具体的な取組を進めます。

【検討・協議の流れ】

新しい時代を見据えて、児童生徒に必要な資質・能力を育成する



○小中一貫教育を推進する

- ・学校段階間の接続の重視と、義務教育9年間の系統性・連続性に配慮した教育活動の推進
- ・義務教育9年間を見通した教育課程及び一体的な指導による学びの連続性の確保

市川市の方向

- 教育振興基本計画「教育の接続化」
 - ・中学校ブロック単位の指導の一貫化
 - ・進学・進級時の滑らかな進学
- 義務教育学校の設置に関する方針
 - ・小中一貫教育の推進

国の方向

- 新しい学習指導要領
 - ・「学校段階等間の接続」の明示
- 中央教育審議会
 - ・小学校高学年教科担任制の導入（R4）

<令和2年度>



① 学校体制は…

② 学校施設は…

③ 課題解決の方策は…

④ スケジュールは…

○検討委員会
・検討・協議

○教育委員会事務局
・案の作成及び提示
・協議事項の具体化

小中一貫教育推進計画の策定

